



令和8年度 上水道事業 滝野浄水場ほか除却工事（第3工区）

金抜設計書

工事番号 2026073800

工事名 令和8年度 上水道事業 滝野浄水場ほか除却工事（第3工区）

施工場所 加東市北野761番地（滝野浄水場）

兵庫県 加東市

総括情報表

単価適用年月日	00-08.05.01(0)		
工種区分 施工地域区分 前払区分 契約保証補正 週休2日補正 工事価格丸め	<p style="text-align: center;">今 回</p> 03 構造物工事 (浄水場等) 26 補正無し 02 補正なし 1.00 01 金銭的保証 08 完全週休2日 (土日) 01 万円丸め	<p style="text-align: center;">前 回</p>	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0057

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
除却						
除却工						
施設除却土工						
掘削積込工 ;バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	22		m3			施工 第0 -0001号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石) ;バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	60		m3			施工 第0 -0003号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->流用土) ;バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	22		m3			施工 第0 -0005号内訳表
施設除却						
管材費	1		式			代価 第0001号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工；[機械施工] 鉄筋構造物	213	m3			施工 第0 -0006号内訳表
コンクリート殻（有筋）運搬・処分工	213	m3			施工 第0 -0007号内訳表
手壊し併用機械解体 プレハブ小屋撤去工 5.45×2.65×H2.35	14	延床m2			
アルミ片開きドア撤去工 W 800 × H 2000	1.6	m2			
アルミ片開きドア撤去工 W 900 × H 2000 × 2枚	3.6	m2			
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 300mm	2.0	m			施工 第0 -0011号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 250mm	5.2	m			施工 第0 -0013号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 150mm	8.0	m			施工 第0 -0014号内訳表
鋼管吊込み撤去（機械力） 呼び径 150mm 呼び厚さ A種 既設鋼管	1.5	m			施工 第0 -0015号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 125mm 呼び厚さ A種 既設鋼管	1.2	m			施工 第0 -0016号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 100mm 呼び厚さ A種 既設鋼管	9.6	m			施工 第0 -0017号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 80mm 呼び厚さ A種 既設STGP管	23.8	m			施工 第0 -0018号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 80mm 呼び厚さ A種 既設鋼管 65A	3.4	m			施工 第0 -0019号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 300mm 呼び厚さ A種 既設SUS管	5.6	m			施工 第0 -0020号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 250mm 呼び厚さ A種 既設SUS管	3.5	m			施工 第0 -0021号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 150mm 呼び厚さ A種 既設SUS管	4.1	m			施工 第0 -0022号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 125mm 呼び厚さ A種 既設SUS管	7.5	m			施工 第0 -0023号内訳表
鋼管吊込み撤去 (機械力) 呼び径 80mm 呼び厚さ A種 既設SUS管 40A	3.5	m			施工 第0 -0024号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径 40mm	1.0	m			施工 第0 -0025号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径300mm	1	口			施工 第0 -0026号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径250mm	1	口			施工 第0 -0027号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径150mm	2	口			施工 第0 -0028号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径150mm 鋼管	2	口			施工 第0 -0029号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径100mm 鋼管 φ 125	2	口			施工 第0 -0030号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 300mm) 継手: K形 特殊押輪補正なし	1	口			施工 第0 -0031号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 250mm) 継手: K形 特殊押輪補正なし	1	口			施工 第0 -0032号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 150mm) 継手: K形 特殊押輪補正なし	2	口			施工 第0 -0033号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手 接合(呼び径 150mm) 継手：S, S II, NS, U, K形以外 離脱防止継手補正なし	2	口			施工 第0 -0034号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 100mm) 継手：S, S II, NS, U, K形以外 離脱防止継手補正なし125A	2	口			施工 第0 -0035号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 250mm) J W W A 7.5K	4	口			施工 第0 -0036号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 150mm) J W W A 7.5K	1	口			施工 第0 -0037号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J W W A 7.5K	1	口			施工 第0 -0038号内訳表
アルミ引違い窓撤去工 1600×1200×26枚	49.9	m2			
アルミ上げ下げ窓撤去工 900×950×2枚	1.7	m2			
アルミはめ殺し窓撤去工 1700×400×1枚	0.7	m2			
アルミはめ殺し窓撤去工 1600×400×2枚	1.3	m2			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0007/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミはめ殺し窓撤去工 700×1500×2枚	2.1	m2			
アルミ両開きドア撤去工 1700×2000×1枚	3.4	m2			
アルミ引戸撤去工 1700×2300×1枚	7.8	m2			
アルミ片開きドア撤去工 800×1800×4枚	5.8	m2			
ガラスパネル撤去工 スチールパネーション 900×1800×3枚	4.9	m2			
親子開きドア撤去工 スチールパネーション 1200×1800×1枚	2.2	m2			
手こわし解体 (屋内) 石綿含有物 石膏ボード t=12.5mm	7.0	m2			
手こわし解体 (屋内) 石綿含有物 ケイ酸カルシウム板 t=6mm	13.0	m2			
手こわし解体 (屋内) 石綿含有物 長尺シート t=2mm	1.5	m2			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0008/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気通信技術者 週休2日対象		人			
電工 週休2日対象		人			
機械設備据付工 週休2日対象		日			8
設備機械工 週休2日対象		人			
普通作業員 週休2日対象		人			
アスベスト運搬・処分工 管理型廃棄物	0.03	t			施工 第0 -0039号内訳表
アスベスト運搬・処分工 安定型廃棄物	0.02	t			施工 第0 -0042号内訳表
ガラスくず運搬・処分工	0.91	t			施工 第0 -0044号内訳表
混合廃棄物処分 7m3コンテナ・運搬費込み	1	台			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0009/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう製作・設置					
流用土	18	袋			施工 第0 -0046号内訳表
直接工事費計					
共通仮設費計					
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
スクラップ控除		式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0010/0057

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ控除費		式			
鉄屑 故銑 B	2.4	t			
鉄屑 へびー H1	1.0	t			
鉄屑 へびー H3	1.1	t			
スクラップ (アルミ : 込みガラ)	248	kg			
工事価格計					
消費税相当額		式			
総 計					

管材費

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0011/0057

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フランジ蓋 φ250 7.5K	4	個			K 管材費
フランジ蓋 φ150 7.5K	1	個			K 管材費
フランジ蓋 φ75 7.5K	1	個			K 管材費
フランジ接手材 φ250 RF 7.5K SUS304 B,N	4	組			K 管材費
フランジ接手材 φ150 RF 7.5K SUS304 B,N	1	組			K 管材費
フランジ接手材 φ75 RF 7.5K SUS304 B,N	1	組			K 管材費
メカ帽 φ250 特押なし K形	1	個			K 管材費
メカ帽 φ150 特押なし K形	2	個			K 管材費
メカ帽 φ150 特押なし 鋼管用 (SGP)	2	個			K 管材費

施工単価表

施工 第0 -0003号内訳表

頁0-0014/0057

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 週休2日対象		人			
普通作業員 週休2日対象		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クハ° 運転 (賃料)		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3			再生切込砕石 バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)

施工単価表

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0015/0057

埋戻工（埋戻し材→流用土）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役 週休2日対象		人			
普通作業員 週休2日対象		人			
流用土		m3			
バックホ運転		時間			
クハ° 運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=2 =3	流用土 バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0 -0008号内訳表

頁0-0018/0057

運搬

[規格1] 処理対象->Co塊 (鉄筋)

[規格2]

[摘要]

10

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合 計	10	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A ダンプトラック規格		=2			
B 積込機械・規格		=3			
C 土質区分		=3			
D 運搬距離(km)		=12.8			
E DID区間		=2			
F 路面状態		=1			

ダンプトラック4t積
バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3)
Co塊 (鉄筋)
運搬距離(km)
DID有
路面：良好

施工単価表

施工 第0 -0046号内訳表

頁0-0054/0057

大型土のう製作・設置

[規格1] 名称・規格	[規格2] 流用土	[摘要]	10	袋	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 週休2日対象		人			1
特殊作業員 週休2日対象		人			1
普通作業員 週休2日対象		人			1
耐候性大型土のう φ110(丸型)×110(cm) 長期仮設(3年)対応		枚			
土砂(流用土)		m3			
バックホ運転 (賃料)		日			
ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジャブ型 25t吊 ホベレタ付き		日			
諸雑費		%			#01
合計	10	袋			
単位当り	1	袋			
A 作業区分		=1	製作・設置		
B 土のう袋の種類		=3	耐候性型(3年対応)		
C 袋詰土区分		=2	流用土		
D 作業半径		=1	5m以下		
E 設置面高さ		=2	H < -3m, 2m < H		

登録単価一覧表

コード	名称・規格1・規格2	単位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊 集計	集計 区分
F0012	アルミ両開きドア撤去工	m2						
F0013	アルミ引違い窓撤去工	m2						
F0014	アルミ片開きドア撤去工	m2						
F0015	アルミはめ殺し窓撤去工	m2						
F0016	アルミ上げ下げ窓撤去工	m2						
F0017	スクラップ (アルミ : 込みガラ)	kg						
F0018	アルミ引戸撤去工	m2						
F0019	ガラスパネル撤去工 スチールパネーション 900×1800×3枚	m2						
F0020	親子開きドア撤去工 スチールパネーション 1200×1800×1枚	m2						
F0100	フランジ蓋 φ250 7.5K	個					K	
F0101	フランジ蓋 φ150 7.5K	個					K	
F0102	フランジ蓋 φ75 7.5K	個					K	

登録単価一覧表

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0103	フランジ接手材 φ250 RF 7.5K SUS304 B,N	組					K
F0104	フランジ接手材 φ150 RF 7.5K SUS304 B,N	組					K
F0105	フランジ接手材 φ75 RF 7.5K SUS304 B,N	組					K
F0106	メカ帽 φ250 特押なし K形	個					K
F0108	メカ帽 φ150 特押なし K形	個					K
F0109	メカ帽 φ150 特押なし 鋼管用 (SGP)	個					K
F0110	メカ帽 φ125 特押なし 鋼管用 (SGP)	個					K
F0111	メカ帽 φ300 特押なし K形	個					K
F0120	手壊し併用機械解体 プレハブ小屋撤去工	m2					
F0121	手こわし解体 (屋内) 石綿含有物	m2					
F0122	混合廃棄物処分 7m3コンテナ・運搬費込み	台					
FP1111	エンジンカッター機械損料	日					

機 労 材 集 計 表

項番	集計区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			バックホ(クローラ型)					
			ダンプトラック					
			トラック					
			トラック					
			特殊作業員					
			普通作業員					
			電工					
			運転手(特殊)					
			運転手(一般)					
			土木一般世話役					
			配管工					
			設備機械工					
			機械設備据付工					
			電気通信技術者					
			再生切込砕石					県産品有
			耐候性大型土のう					
			鉄屑					
			鉄屑					
			鉄屑					
			レギュラーガソリン					
			軽油					
			無代					
			受入価格					
			受入価格					
			受入価格					
			受入価格					
			構造物とりこわし工(鉄筋)[昼間]					
			損耗費(タイヤ)					
			ラフレックレン(排出ガス対策型含)					
			タンパ(ランマ)					
			バックホ(排出ガス対策型・超低騒音型含)					

数量総括表

工事名	令和8年度 上水道事業 滝野浄水場ほか除却工事 (第3工区)		事業区分		水道施設工事		
			工事区分				
工種・種別・細目			算式		数量	単位	摘要
	メニカル継手接合 (呼び径 150A)	継手:鋼管 特殊押輪補正なし	2	=	2	口	
	メニカル継手接合 (呼び径 125A)	継手:鋼管 特殊押輪補正なし	2	=	2	口	
	フランク継手接合 (呼び径 250mm)	JWWA 7.5K	4	=	4	口	
	フランク継手接合 (呼び径 150mm)	JWWA 7.5K	1	=	1	口	
	フランク継手接合 (呼び径 75mm)	JWWA 7.5K	1	=	1	口	
	アルミ引違窓撤去工	1,600×1,200 N=26枚	49.9	=	49.9	49.9	m2
	アルミ窓撤去工	900×950 N=2枚	1.7	=	1.7	1.7	m2
	アルミはめ殺し窓撤去工	1,700×400 N=1枚	0.7	=	0.7	0.7	m2
	アルミはめ殺し窓撤去工	1,600×400 N=2枚	1.3	=	1.3	1.3	m2
	アルミはめ殺し窓撤去工	700×1,500 N=2枚	2.1	=	2.1	2.1	m2
	アルミ両開きドア撤去工	1,700×2,000 N=1枚	3.4	=	3.4	3.4	m2
	アルミ引戸撤去工	1,700×2,300 N=1枚	7.8	=	7.8	7.8	m2
	アルミ片開きドア撤去工	800×1,800 N=4枚	5.8	=	5.8	5.8	m2
	ガラスハネ撤去工	スチールハレーション N=3枚 900×1,800	4.9	=	4.9	4.9	m2
	親子開きドア撤去工	スチールハレーション N=1枚 1,200×1,800	2.2	=	2.2	2.2	m2
	石膏ボード取外工	手ばらし (天井) 石綿含有 t=12.5mm	7.02	=	7.02	7.0	m2 比重 0.3 環境省重量換算係数
	ケイ酸カルシウム板取外工	手ばらし (天井) 石綿含有 t=6mm	12.99	=	12.99	13.0	m2 環境省重量換算係数
	長尺シート取外工	手ばらし (床) 石綿含有 t=2mm	1.46	=	1.46	1.5	m2 環境省重量換算係数
	電気通信技術者						人工
	電工						人工
	機械設備据付工						日
	設備機械工						人工
	普通作業員						人工
	アスベスト運搬・処分工	管理型廃棄物 石膏ボード	0.03	=	0.03	0.03	t
	アスベスト運搬・処分工	安定型廃棄物 ケイ酸カルシウム板、長尺シート	0.02	=	0.02	0.02	t
	ガラス運搬・処分工		0.91	=	0.91	0.91	t 比重 2.5
	混合廃棄物処分	7 m3コンテナ 運搬費込み	1	=	1	1	台
	大型土嚢設置工	材工共	18	=	18	18	袋
	スクラップ控除						
	スクラップ控除費						
	鉄屑	故鉄B	2.38	=	2.38	2.4	t
	鉄屑	へび-H1	1.04	=	1.04	1.0	t
	鉄屑	へび-H3	1.10	=	1.10	1.1	t
	アルミ屑	アルミ	248	=	248	248	kg

(施設除却)		除却労務数量表					NO. 2		上段：変更前	下段：変更後
名称	形状・寸法	単位	管理棟	浄水池	配水ポンプ室			合計	摘要	
コンクリート取壊工	躯体・基礎	m ³	184.16	23.32	5.57			213.05	浄水池	
残塊運搬・処分工	Co塊 4tD BH0.28 有筋(躯体・基礎)	m ³	184.16	23.32	5.57			213.05	9.52+6.9*2	
プレハブ小屋撤去工	5.45×2.65×H2.35	延床 m ²			14.4			14.4	5.45×2.65	
アルミ扉撤去工	片開きドア W800×H2,000	m ²		1.6				1.6	1枚 浄水池	
アルミ扉撤去工	片開きドア W900×H2,000	m ²		3.6				3.6	2枚 揚水ポンプ室	
既設铸铁管撤去工	DCIP φ300	m	2.0					2.0		
既設铸铁管撤去工	DCIP φ250	m	2.2	3.0				5.2		
既設铸铁管撤去工	DCIP φ200	m								
既設铸铁管撤去工	DCIP φ150	m		8.0				8.0		
既設鋼管撤去工	SGP 150A	m	1.5					1.5		
既設鋼管撤去工	SGP 125A	m	1.2					1.2		
既設鋼管撤去工	NCP 100A	m			9.6			9.6		
既設鋼管撤去工	NCP 80A	m		18.8	5.0			23.8		
既設鋼管撤去工	NCP 65A	m			3.4			3.4	1.7+1.7	
既設ステンレス管撤去工	SUS 300A	m	5.6					5.6		
既設ステンレス管撤去工	SUS 250A	m	3.5					3.5		
既設ステンレス管撤去工	SUS 150A	m	4.1					4.1	1.7+2.4	
既設ステンレス管撤去工	SUS 125A	m	7.5					7.5	3.0+2.1+2.4	
既設ステンレス管撤去工	SUS 40A	m			3.5			3.5		
既設塩ビ管撤去工	HIVP φ150	m								
既設塩ビ管撤去工	HIVP φ40	m			1.0			1.0		
既設铸铁管切断工	DCIP φ300	口	1					1	浄水流出管	
既設铸铁管切断工	DCIP φ250	口	1					1	原水流出管	
既設铸铁管切断工	DCIP φ200	口							流入管	
既設铸铁管切断工	DCIP φ150	口		2				2	越流管	
既設鋼管切断工	SGP φ150	口	2					2	浄水流入管	
既設鋼管切断工	SGP φ125	口	2					2	原水流入管	
メカニカル継手工	K形 特押なし φ300	口	1					1		
メカニカル継手工	K形 特押なし φ250	口	1					1		
メカニカル継手工	K形 特押なし φ200	口								
メカニカル継手工	K形 特押なし φ150	口		2				2		

上段：変更前

下段：変更後

NO. 3

除却労務数量表

(施設除却)

名称	形状・寸法	単位	管理棟	浄水池	配水ポンプ室			合計	摘要
メカニカル継手工	鋼管 特押なし 150A	口	2					2	
メカニカル継手工	鋼管 特押なし 125A	口	2					2	
フランジ継手工	φ250 7.5K	口		4				4	
フランジ継手工	φ150 7.5K	口			1			1	
フランジ継手工	φ75 7.5K	口			1			1	
アルミ引違窓撤去工	1,600×1,200	m ²	49.9					49.9	26枚(ガラス処分)
アルミ窓撤去工	900×950	m ²	1.7					1.7	2枚(ガラス処分)
アルミはめ殺し窓撤去工	1,700×400	m ²	0.7					0.7	1枚(ガラス処分)
アルミはめ殺し窓撤去工	1,600×400	m ²	1.3					1.3	2枚(ガラス処分)
アルミはめ殺し窓撤去工	700×1,500	m ²	2.1					2.1	2枚(ガラス処分)
アルミ両開きドア撤去工	1,700×2,000	m ²	3.4					3.4	1枚(スクラップ)
アルミ引戸撤去工	1,700×2,300	m ²	7.8					7.8	2枚(スクラップ)
アルミ片開きドア撤去工	800×1,800	m ²	5.8					5.8	4枚(スクラップ)
ガラスパネル撤去工	スチールパネーション 900×1,800	m ²	4.9					4.9	3枚(ガラス処分)
親子開きドア撤去工	スチールパネーション 1,200×1,800	m ²	2.2					2.2	1枚(スクラップ)
石膏ボード取外工	手ばらし 石綿含有 t=12.5mm	m ²	7.02					7.02	石膏ボード比重0.3
ケイ酸カルシウム板取外工	手ばらし 石綿含有 t=6mm	m ²	11.99	1.00				12.99	建設混合廃棄物比重0.26
長尺シート取外工	手ばらし 石綿含有 t=2mm	m ²	1.46					1.46	建設混合廃棄物比重0.26
電気通信技術者		人工							
電工		人工							
機械設備据付工		日							
設備機械工		人工							
普通作業員		人工							
アスベスト運搬・処分工	管理型廃棄物 石膏ボード	t	0.03					0.03	
アスベスト運搬・処分工	安定型廃棄物 ケイ酸カルシウム、長尺シート	t	0.02					0.02	
ガラス運搬・処分工	t=6mm	t	0.91					0.91	ガラス比重2.5
掘削	機械	m ³	22.07					22.07	
埋戻工		m ³	68.92	4.65				73.57	
大型土嚢設置工	材工共	袋	18					18	
「アスベスト重量」	(7.02m ² ×12.5mm×0.3t/m ³)=0.026 → 0.03 t (管理型) (11.99m ² ×6mm×0.26t/m ³)+(1.46m ² ×2mm×0.26t/m ³)+(1.00m ² ×6mm×0.26t/m ³)=0.021 → 0.02 t (安定型)								
「ガラス重量」	((1.60m×1.20m×26枚)+(0.90m×0.95m×2枚)+(1.70m×0.40m×1枚)+(1.60m×0.40m×2枚)+(0.70m×1.50m×2枚)+(0.90m×1.80m×3枚))×6mm×2.5t/m ³ =0.908 → 0.91 t								

管理棟撤去工

No.	機器名称	数量	単位	補正係数	電気通信技術者		電工		普通作業員		備考
					単位数	工数	単位数	工数	単位数	工数	
1	2F建屋分電盤	1	面	0.4							
2	入出力制御盤	1	面	0.4							
3	ブレーカ親局盤	1	面	0.4							
4	計装盤	1	面	0.4							
5	中央監視分電盤	1	面	0.4							
6	UPS	1	台	0.4							
7	取水ポンプ盤	1	面	0.4							
8	前処理動力盤	1	面	0.4							
9	発電機切替動力盤	1	面	0.4							
10	低区送水ポンプ盤	1	面	0.4							
11	ブレーカ保安器箱	1	面	0.4							
12	1F建屋分電盤	1	面	0.4							
13	浄水濁度計	1	台	0.4							
14	浄水PH計	1	台	0.4							
15	原水濁度計	1	台	0.4							
16	原水PH計	1	台	0.4							
合計											

電気通信技術者

電工

普通作業員

管理棟機械撤去工

機 器 等 名 称	重 量 (t)	個 数 (ヶ)	重 量 計 (t)	機械設備据付工			第 7 類		
				第 1 類	第 2 類	第 3 類		第 4 類	第 6 類
				12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.776}	14.2X ^{0.676}		4.8X	7.5X
1号取水ポンプφ100							*0.4		
第1類	0.157	1	0.157				*0.4		
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金 額									
				撤去40%			計		

管理棟機械撤去工

機器等名称	重量 (t)	個数 (ヶ)	重量計 (t)	第1類 12.2X ^{0.711}	第2類 4.8X ^{0.776}	第3類 14.2X ^{0.676}	第4類 4.8X	第6類 7.5X	第7類 4.9X
2号取水ポンプφ100									
第1類	0.157	1	0.157						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額				撤去40%	計				

管理棟機械撤去工

工事名称	重量 (t)	個数 (ヶ)	重量計 (t)	第1類 12.2X ^{0.711}	第2類 4.8X ^{0.776}	第3類 14.2X ^{0.676}	第4類 4.8X	第6類 7.5X	第7類 4.9X
1号送水ポンプφ125									
第1類	0.349	1	0.349						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額				撤去40%	計				

管理棟機械撤去工

工事名称	重量 (t)	個数 (ヶ)	重量計 (t)	第1類 12.2X ^{0.711}	第2類 4.8X ^{0.776}	第3類 14.2X ^{0.676}	第4類 4.8X	第6類 7.5X	第7類 4.9X
2号送水ポンプφ125									
第1類	0.349	1	0.349						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額									
				撤去40%	計				

管理棟機械撤去工

工事名称	重量 (t)	個数 (ヶ)	重量計 (t)	第1類 12.2X ^{0.711}	第2類 4.8X ^{0.776}	第3類 14.2X ^{0.676}	第4類 4.8X	第6類 7.5X	第7類 4.9X
空気圧縮機									
第1類	0.095	1	0.095						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額									
				撤去40%	計				

浄水池・揚水ポンプ室機械撤去工

機器等名称	重量 (t)	個数 (ヶ)	重量計 (t)	機械設備据付工			第 7 類		
				第 1 類	第 2 類	第 3 類		第 4 類	第 6 類
揚水ポンプ				12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.776}	14.2X ^{0.676}	4.8X	7.5X	4.9X
第1類	0.036	4	0.144						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額									
				撤去40%					計

*0.4

*0.4

*0.4

配水ポンプ室機械撤去工

機器等名称	重量 (t)	个数 (ヶ)	重量計 (t)	機械設備据付工			第 7 類		
				第 1 類	第 2 類	第 3 類		第 4 類	第 6 類
配水ポンプ				12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.776}	14.2X ^{0.676}	4.8X	7.5X	4.9X
第1類	0.659	1	0.659						
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類									
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金額									
				撤去40%					
								計	

*0.4

*0.4

*0.4

配水ポンプ室機械撤去工

機 器 等 名 称	重 量	個 数	重 量 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 6 類	第 7 類
配管支持架台	(t)	(ヶ)	(t)	12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.776}	14.2X ^{0.676}	4.8X	7.5X	4.9X
第1類									
第2類									
第3類									
第4類									
第6類									
第7類	0.067	1	0.067						
計(人)									
機械設備据付工(人)									
設備機械工(人)									
普通作業員(人)									
機械設備据付工(円)									
設備機械工(円)									
普通作業員(円)									
金 額									
				撤去40%	計				

ス ク ラ ッ プ

スクラップ数量表

NO. 1

上段：変更前

下段：変更後

名称	形状・寸法	単位						計	摘要
スクラップ控除	DCIP φ 300	t	2.0×46.18/1000					0.09	46.18kg/m
スクラップ控除	DCIP φ 250	t	5.2×35.80/1000					0.19	35.80kg/m
スクラップ控除	DCIP φ 150	t	8.0×21.97/1000					0.18	21.97kg/m
スクラップ控除	揚水ポンプ	t	機械工事人工算出根拠より					0.14	
スクラップ控除	配水ポンプ	t	機械工事人工算出根拠より					0.66	
スクラップ控除	1号取水ポンプ φ 100	t	機械工事人工算出根拠より					0.16	
スクラップ控除	2号取水ポンプ φ 100	t	機械工事人工算出根拠より					0.16	
スクラップ控除	1号送水ポンプ φ 125	t	機械工事人工算出根拠より					0.35	
スクラップ控除	2号送水ポンプ φ 125	t	機械工事人工算出根拠より					0.35	
スクラップ控除	空気圧縮機	t	機械工事人工算出根拠より					0.10	
計	故銑B	t						2.38	
スクラップ控除	SGP150A	t	1.5×19.80/1000					0.03	19.80kg/m
スクラップ控除	SGP125A	t	1.2×15.00/1000					0.02	15.00kg/m
スクラップ控除	NCP100A	t	9.6×13.34/1000					0.13	13.34kg/m
スクラップ控除	NCP80A	t	23.8×9.74/1000					0.23	9.74kg/m
スクラップ控除	NCP65A	t	3.4×8.41/1000					0.03	8.41kg/m
スクラップ控除	SUS300A	t	5.6×35.20/1000					0.2	35.20kg/m
スクラップ控除	SUS250A	t	3.5×26.20/1000					0.09	26.20kg/m
スクラップ控除	SUS150A	t	4.1×14.10/1000					0.06	14.10kg/m
スクラップ控除	SUS125A	t	7.5×11.90/1000					0.09	11.90kg/m
スクラップ控除	SUS40A	t	3.5×3.41/1000					0.01	3.41kg/m
スクラップ控除	支持架台	t	機械工事人工算出根拠より					0.07	
スクラップ控除	親子開きドア(SS400) スチールペーシジョン t=4.5mm	t	2.16㎡×35.4kg/㎡/1000					0.08	
計	へび-H1	t						1.04	
スクラップ控除	撤去盤	t	撤去盤スクラップ重量計算内訳より					1.10	
計	へび-H3	t						1.10	
スクラップ控除	アルミドア等	kg	アルミスクラップ重量内訳より					248	
計	アルミ	kg						248	

撤去盤スクラップ重量計算内訳

浄水池No.1,2揚水ポンプ盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		1.0	0.6	1.95				
前面扉	2.3t	1.0	—	1.95	1	1.95	18.06	35.217
後面	2.3t	1.0	—	1.95	1	1.95	18.06	35.217
側面	2.3t	—	0.6	1.95	2	2.34	18.06	42.260
底板	1.6t	1.0	0.6	—	1	0.6	12.56	7.536
天井	1.6t	1.0	0.6	—	1	0.6	12.56	7.536
重量合計								127.766

浄水池No.3,4揚水ポンプ盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		1.00	0.6	1.95				
前面扉	2.3t	1.00	—	1.95	1	1.95	18.06	35.217
後面	2.3t	1.00	—	1.95	1	1.95	18.06	35.217
側面	2.3t	—	0.6	1.95	2	2.34	18.06	42.260
底板	1.6t	1.00	0.6	—	1	0.6	12.56	7.536
天井	1.6t	1.00	0.6	—	1	0.6	12.56	7.536
重量合計								127.766

配水ポンプ高区流量変換器盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		0.5	0.3	0.6				
前面扉	2.3t	0.5	—	0.6	1	0.3	18.06	5.418
後面	2.3t	0.5	—	0.6	1	0.3	18.06	5.418
側面	2.3t	—	0.3	0.6	2	0.36	18.06	6.502
底板	1.6t	0.5	0.3	—	1	0.15	12.56	1.884
天井	1.6t	0.5	0.3	—	1	0.15	12.56	1.884
重量合計								21.106

管理棟2F建屋分電盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		0.7	0.2	0.7				
前面扉	2.3t	0.7	—	0.7	1	0.49	18.06	8.849
後面	2.3t	0.7	—	0.7	1	0.49	18.06	8.849
側面	2.3t	—	0.2	0.7	2	0.28	18.06	5.057
底板	1.6t	0.7	0.2	—	1	0.14	12.56	1.758
天井	1.6t	0.7	0.2	—	1	0.14	12.56	1.758
重量合計								26.271

管理棟入出力制御盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		0.8	0.68	1.95				
前面扉	2.3t	0.8	—	1.95	1	1.56	18.06	28.174
後面	2.3t	0.8	—	1.95	1	1.56	18.06	28.174
側面	2.3t	—	0.68	1.95	2	2.652	18.06	47.895
底板	1.6t	0.8	0.68	—	1	0.544	12.56	6.833
天井	1.6t	0.8	0.68	—	1	0.544	12.56	6.833
重量合計								117.909

管理棟テレメータ親局盤

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		0.8	0.68	1.95				
前面扉	2.3t	0.8	—	1.95	1	1.56	18.06	28.174
後面	2.3t	0.8	—	1.95	1	1.56	18.06	28.174
側面	2.3t	—	0.68	1.95	2	2.652	18.06	47.895
底板	1.6t	0.8	0.68	—	1	0.544	12.56	6.833
天井	1.6t	0.8	0.68	—	1	0.544	12.56	6.833
重量合計								117.909

管理棟計装盤

管理棟テレメータ保安器箱

部位	板厚	幅 W	奥行 D	高さ H	枚数	面積	単位重量	重量(kg)
		1.2	0.3	0.6				
前面扉	2.3t	1.2	—	0.6	1	0.72	18.06	13.003
後面	2.3t	1.2	—	0.6	1	0.72	18.06	13.003
側面	2.3t	—	0.3	0.6	2	0.36	18.06	6.502
底板	1.6t	1.2	0.3	—	1	0.36	12.56	4.522
天井	1.6t	1.2	0.3	—	1	0.36	12.56	4.522
重量合計								41.552

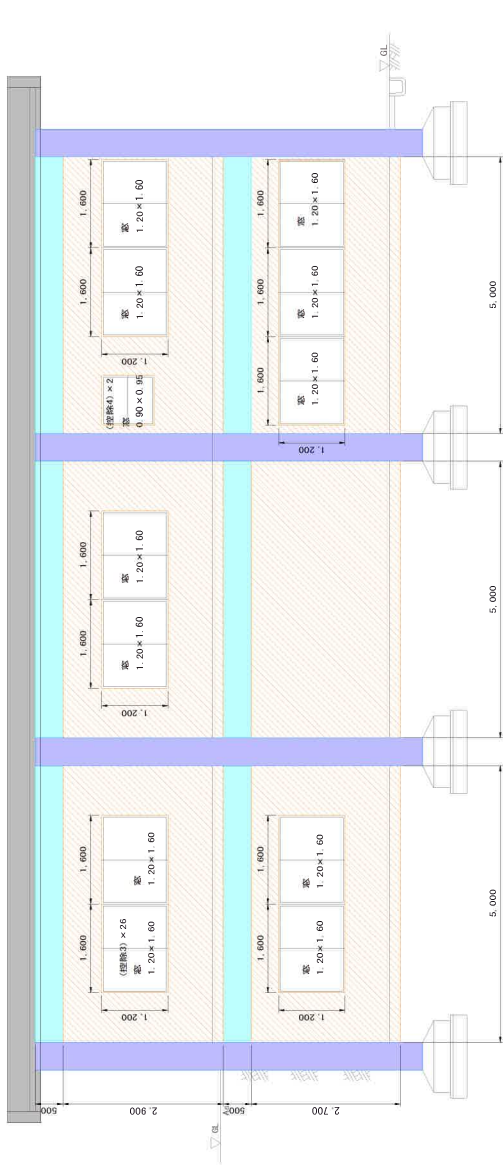
合計								1099.231
----	--	--	--	--	--	--	--	----------

=1.10 t

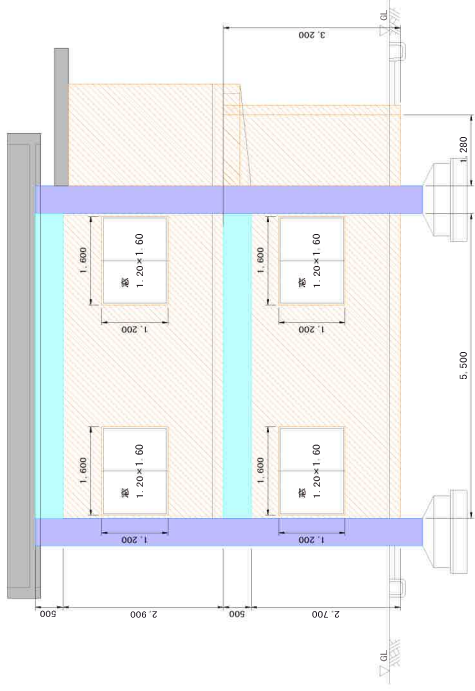
アルミスクラップ重量計算内訳

	枚数	W	H	t	単位重量 (kg/m ³)	重量(kg)	
アルミ扉撤去工	1	0.8	2.0	0.005	2720	21.76	浄水池
アルミ扉撤去工	2	0.9	2.0	0.005		48.96	
アルミ両開きドア撤去工	1	1.7	2.0	0.005		46.24	管理棟
アルミ引戸撤去工	1	1.7	2.3	0.005		53.176	
アルミ片開きドア撤去工	4	0.8	1.8	0.005		78.336	
合計						248.472	

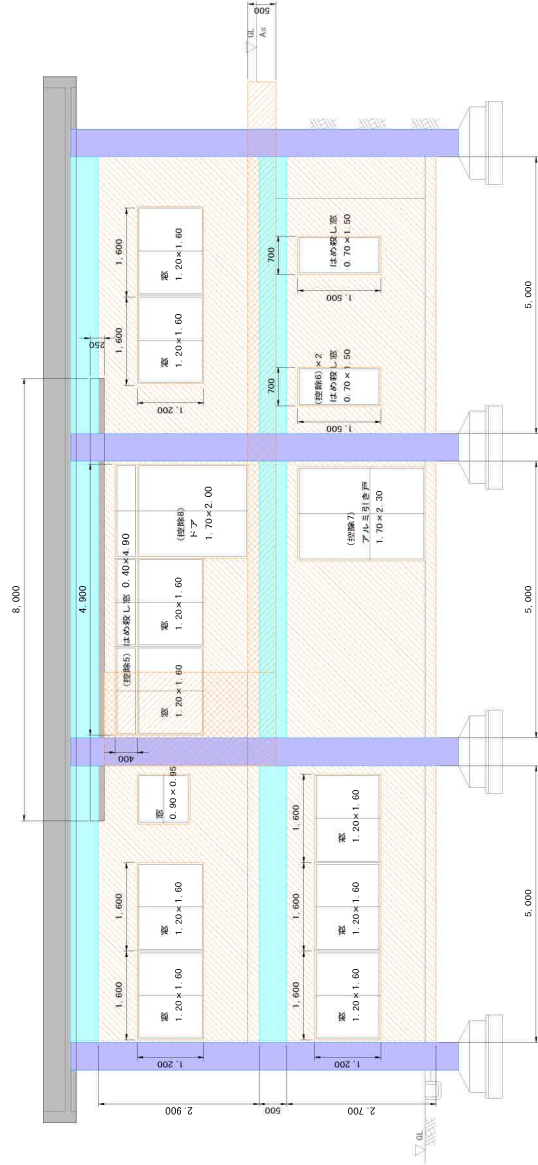
北立面図



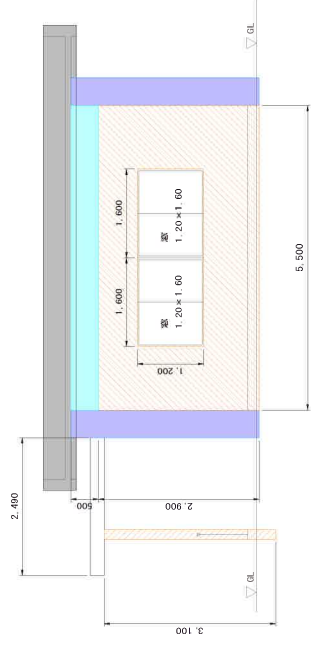
西立面図



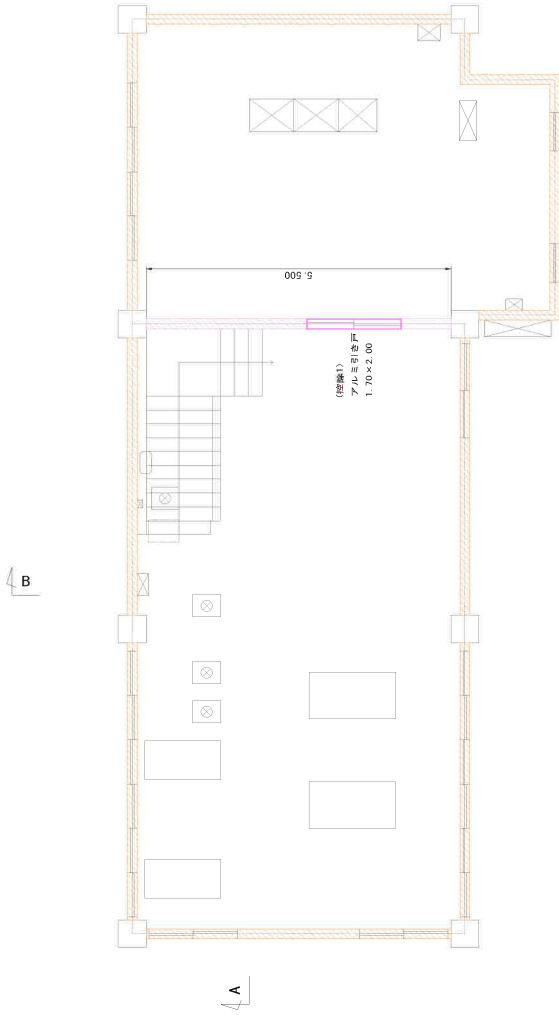
南立面図



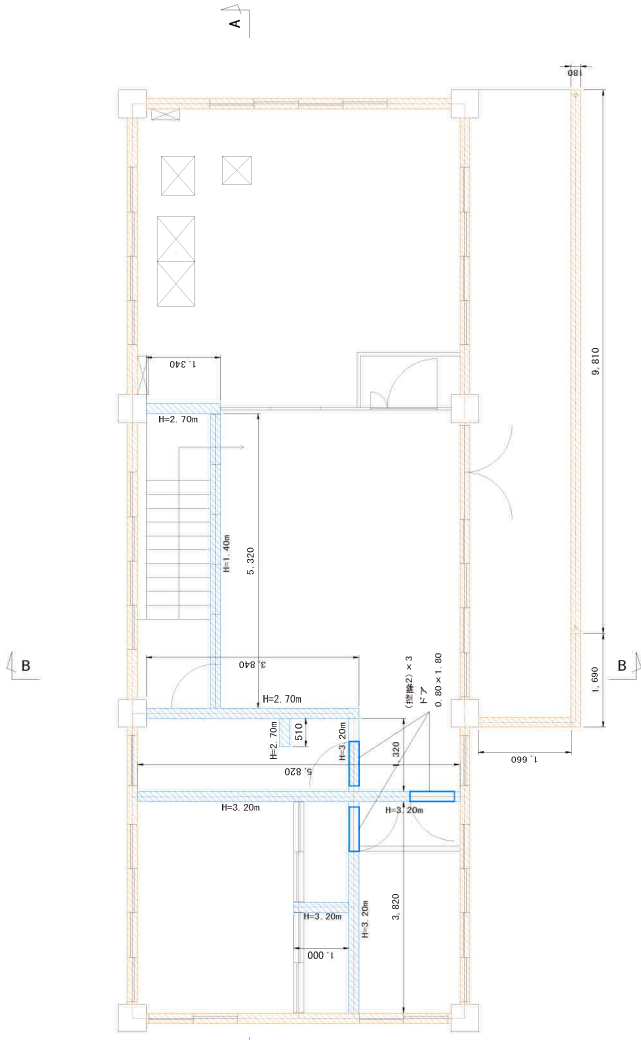
東立面図



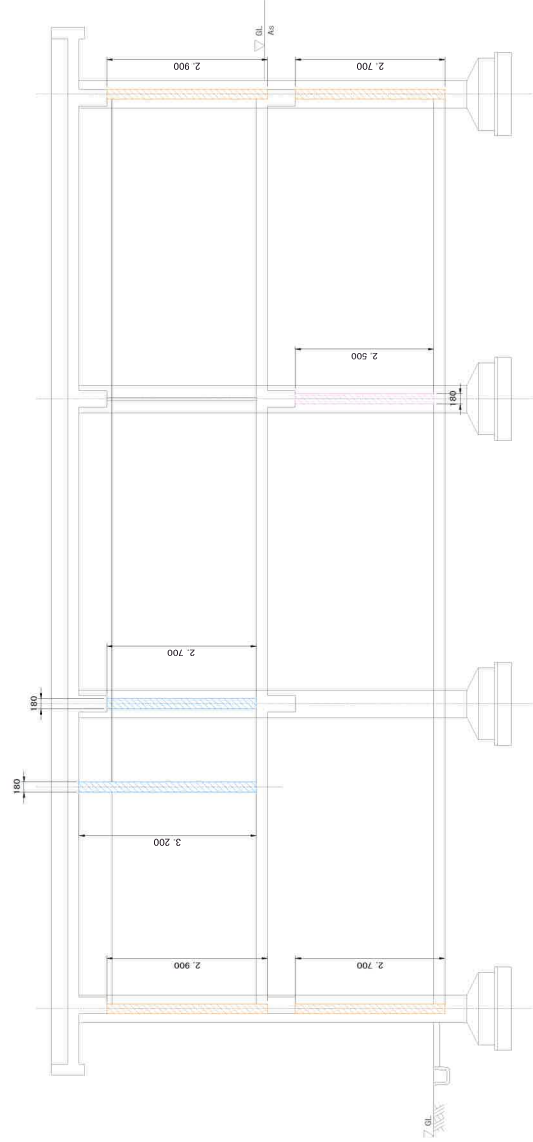
1F平面図



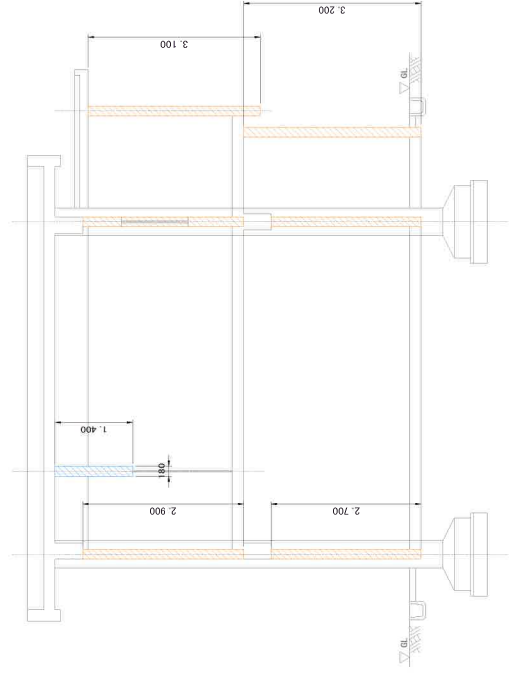
2F平面図



A - A 断面図

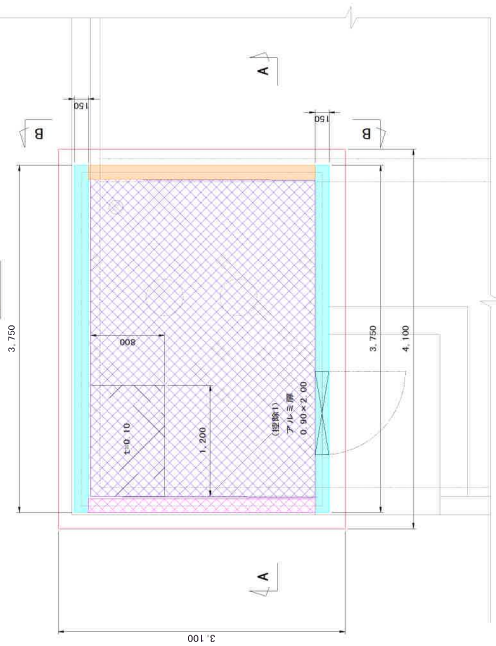


B - B 断面図



揚水ポンプ室撤去数量根拠図 S=1:30

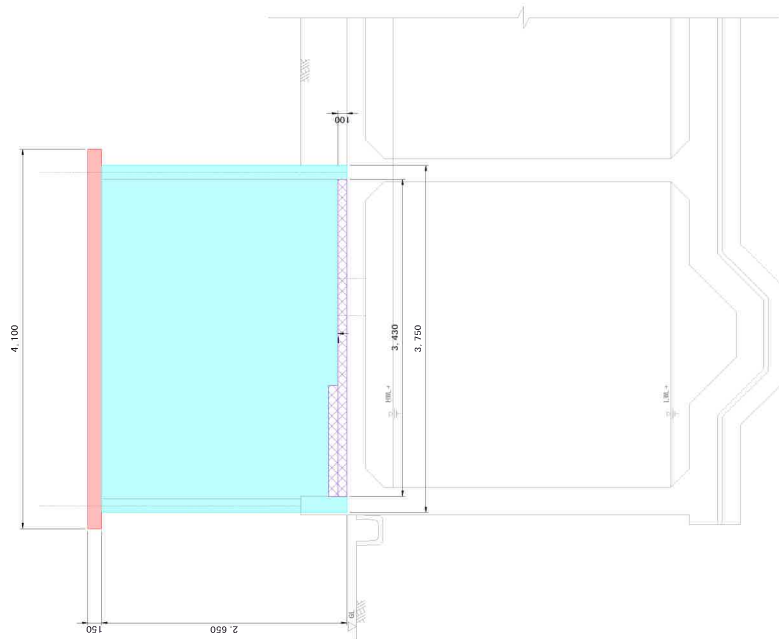
平面図



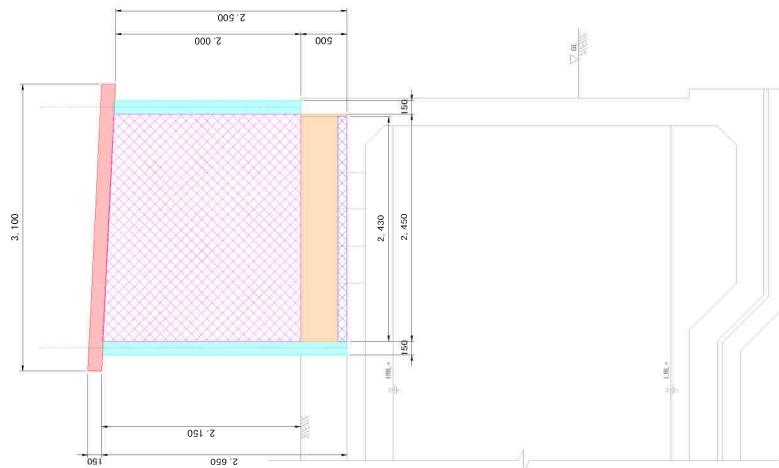
揚水ポンプ室撤去し管積計算表

V1 : 躯体1	3.10 × 4.10 × 0.15 =	1.91m ³
V2 : 躯体2	3.75 × 2.65 × 0.15 =	1.49m ³
	3.75 × 2.00 × 0.15 =	1.19m ³
	-0.80 × 2.00 × 0.15 =	-0.27m ³
(総計)	計	2.35m ³
V3 : 躯体3	(2.50 × 2.65) × 2.45 ÷ 2 × 0.15 =	0.95m ³
V4 : 躯体4	(2.00 × 2.15) × 2.45 ÷ 2 × 0.15 =	0.76m ³
V5 : 躯体5	1.20 × 0.80 × 0.10 =	0.10m ³
	2.43 × 3.43 × 0.10 =	0.83m ³
	計	0.93m ³
	合計	6.90m ³

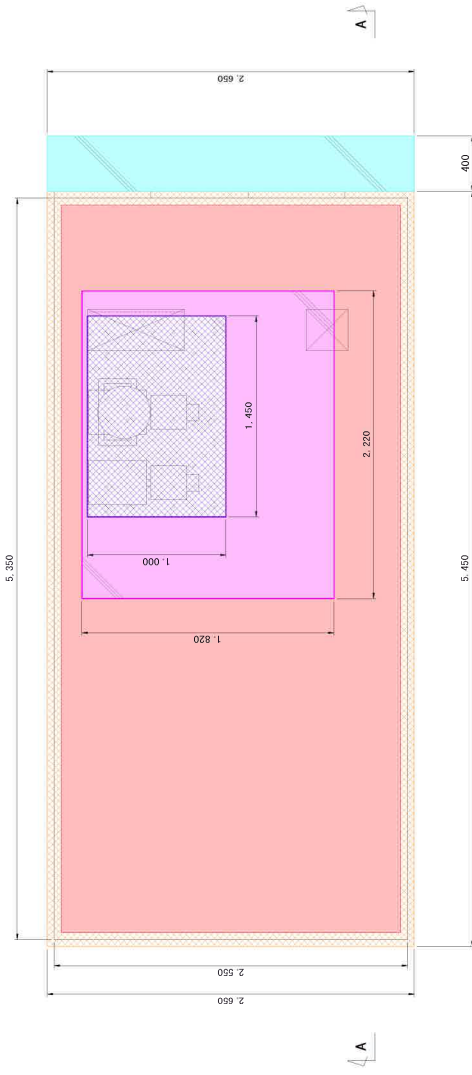
A - A 断面図



B - B 断面図



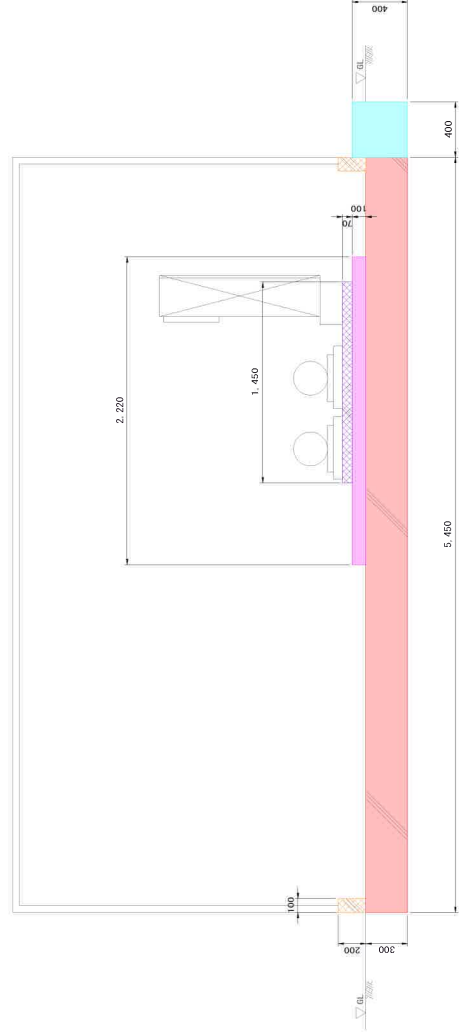
平面図



配水ポンプ室取壊し要積算表

V1 : 基礎1		$5.45 \times 2.65 \times 0.30 = 4.33\text{m}^3$	計 4.33
V2 : 基礎2		$0.40 \times 2.65 \times 0.40 = 0.42\text{m}^3$	計 0.42
V3 : 基礎3		$0.10 \times 0.20 \times (5.35 \times 2.2 - 5.5 \times 2) = 0.32\text{m}^3$	計 0.32
V4 : 基礎4		$2.22 \times 1.82 \times 0.10 = 0.40\text{m}^3$	計 0.40
V5 : 基礎5		$1.45 \times 1.00 \times 0.07 = 0.10\text{m}^3$	計 0.10
			合計 5.57

A - A 断面図



上水道事業

滝野浄水場ほか除却工事（第3工区）

実施設計図

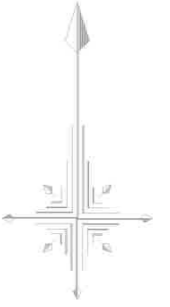
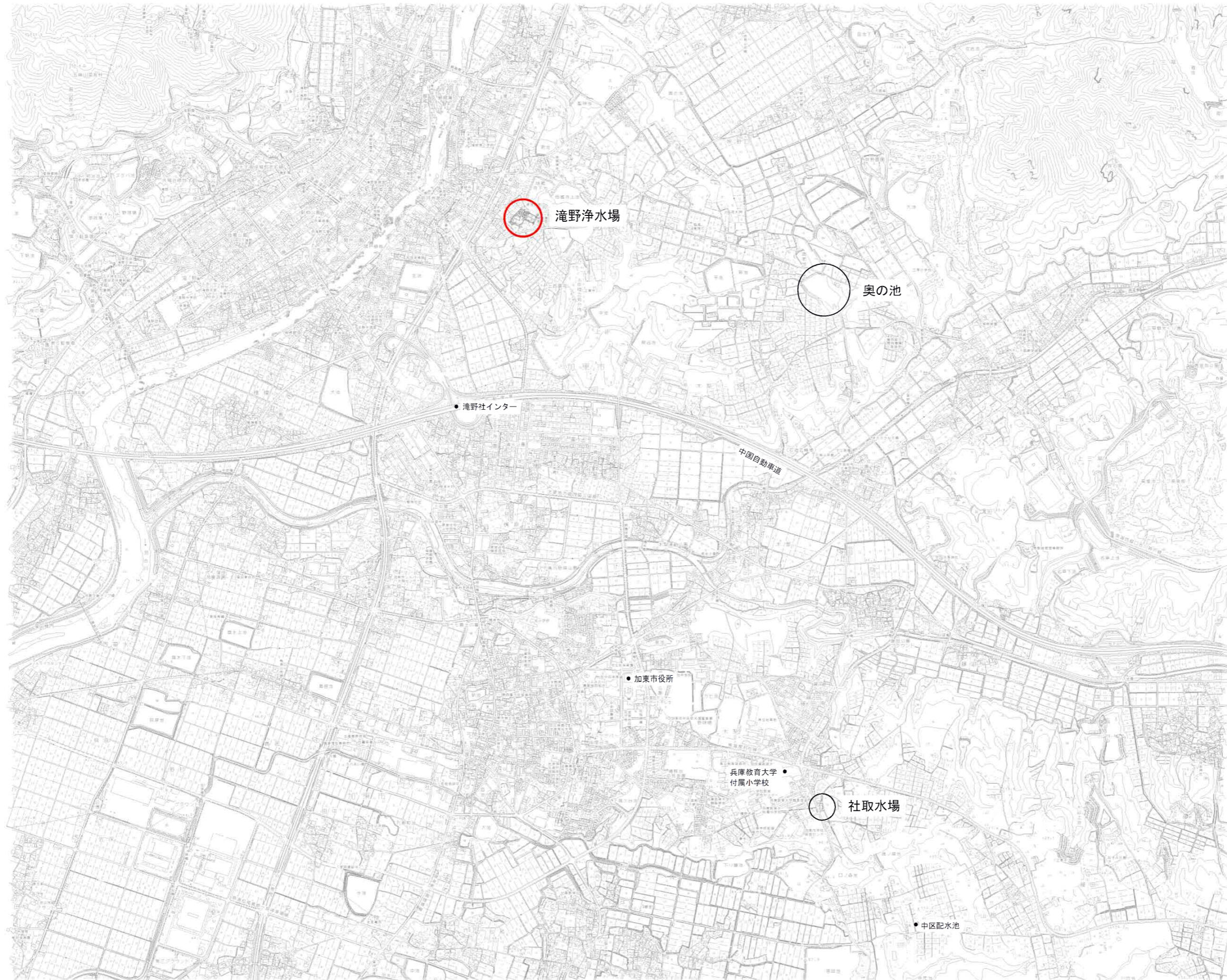
令和8年度

兵庫県 加東市

図 面 目 録

番 号	図 面 名 称	縮 尺	摘 要
1	位置図	1:10,000	
2	一般平面図	1:200	
3	管理棟撤去図（その1）	1:50	
4	管理棟撤去図（その2）	1:50	
5	管理棟撤去図（その3）	1:50	
6	浄水池撤去図	1:60	
7	揚水ポンプ室撤去図	1:30	
8	配水ポンプ室撤去図	1:20	

位置図 S=1:10,000



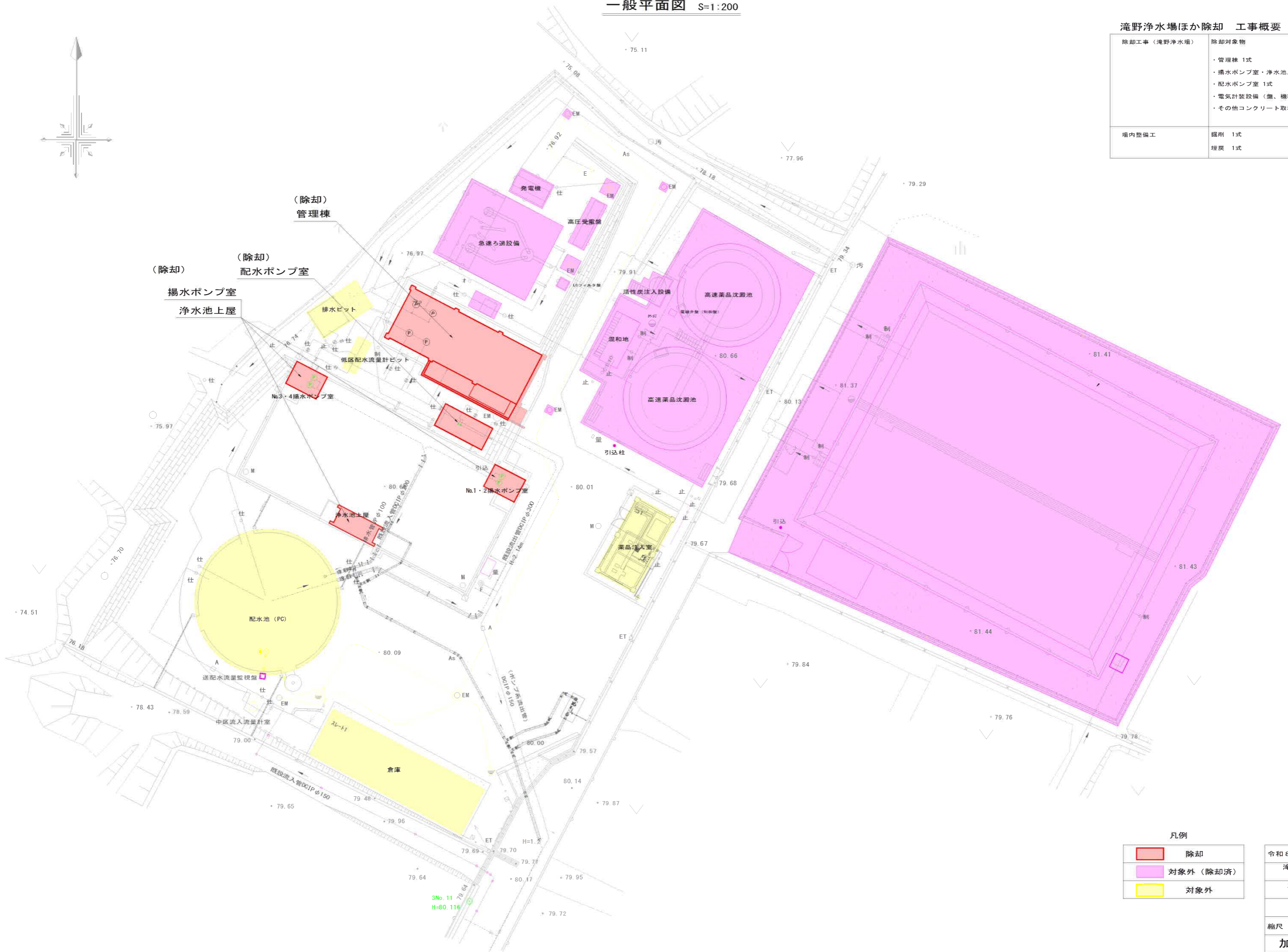
凡例	
施工範囲	—
別工事	—

令和8年度 上水道事業	
滝野浄水場ほか除却工事 (第3工区)	
加東市 北野 763番地 (滝野浄水場)	
位置図	1 / 8 葉全
縮尺	1:10,000
加東市	

一般平面図 S=1:200

滝野浄水場ほか除却 工事概要

除却工事 (滝野浄水場)	除却対象物
	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟 1式 揚水ポンプ室・浄水池上屋 1式 配水ポンプ室 1式 電気計装設備 (盤、機器等) 1式 その他コンクリート取壊工 1式
場内整備工	<ul style="list-style-type: none"> 掘削 1式 埋戻 1式



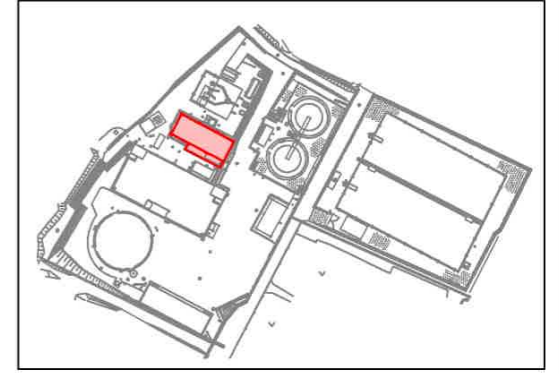
凡例

	除却
	対象外 (除却済)
	対象外

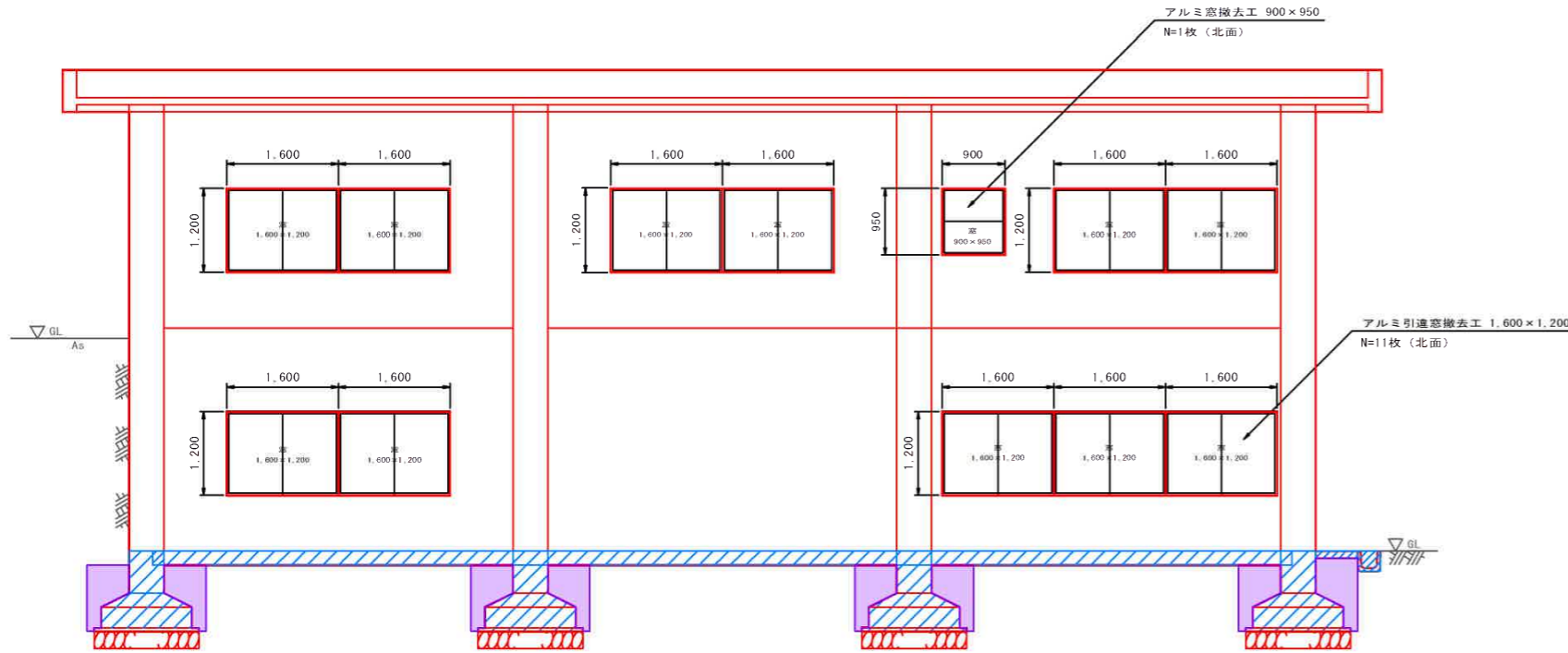
令和8年度 上水道事業	
滝野浄水場ほか除却工事 (第3工区)	
加東市 北野 763番地 (滝野浄水場)	
一般平面図	2 / 全
縮尺 1:200	8
加 東 市	

管理棟撤去図 (その1) S=1:50

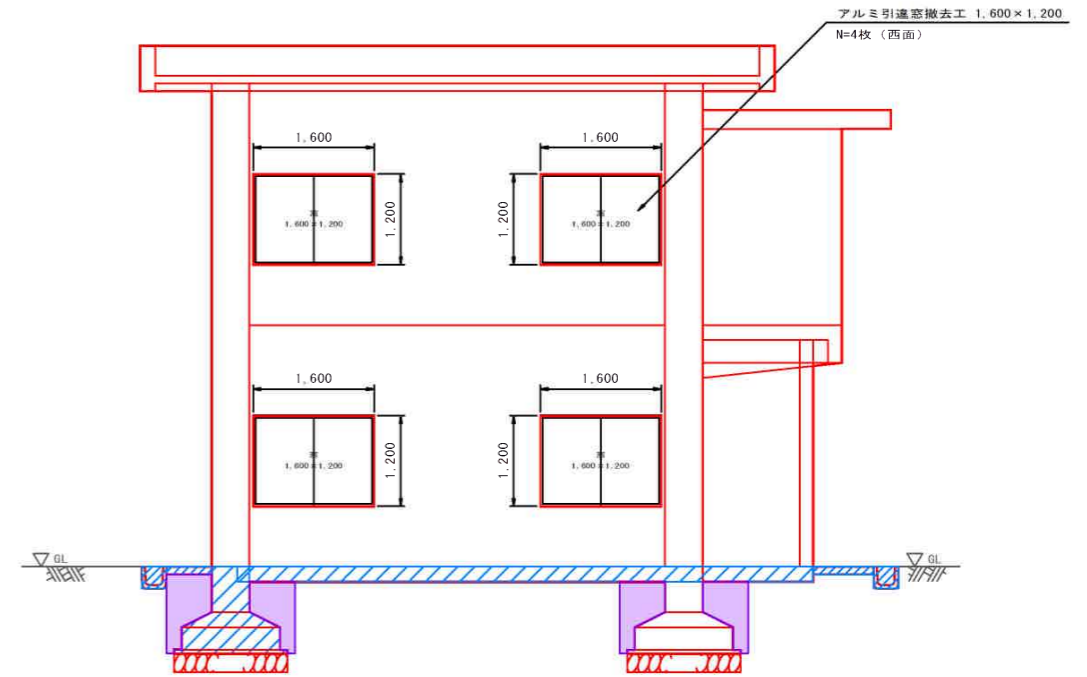
位置図



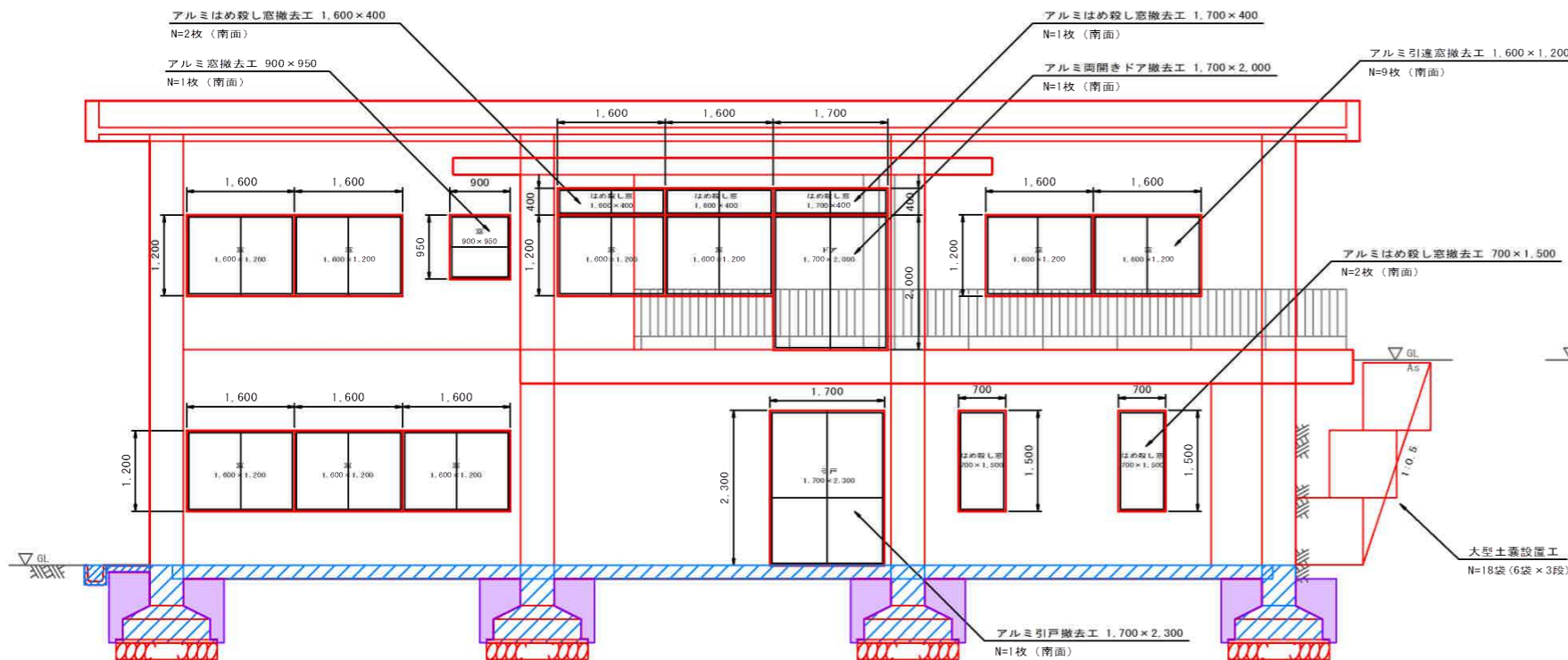
北立面図



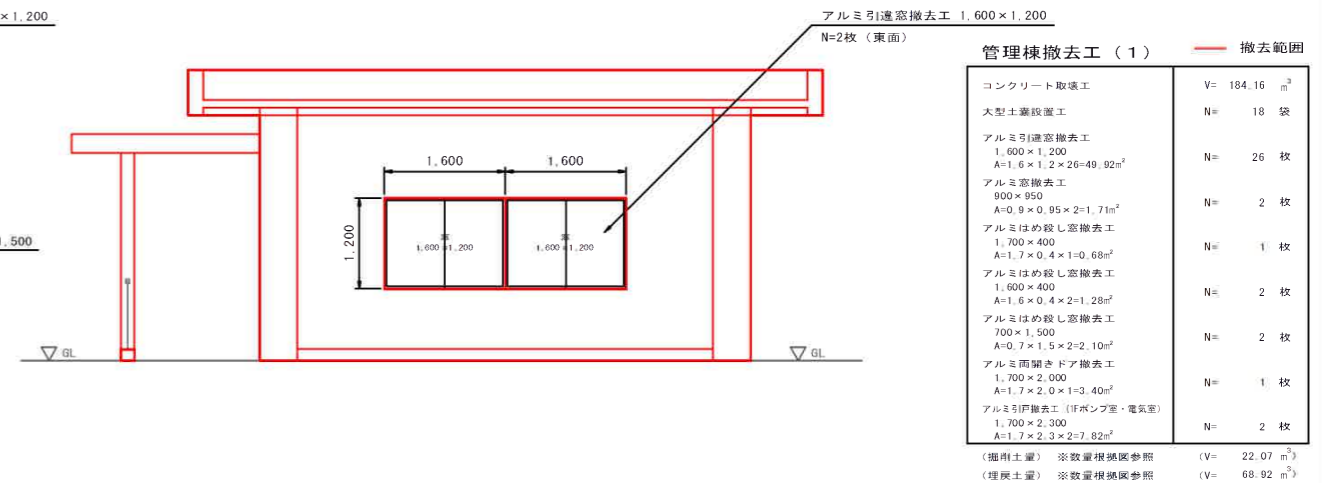
西立面図



南立面図



東立面図



管理棟撤去工 (1)

撤去範囲	数量	単位	体積
コンクリート取壊工	V=	184.16	m ³
大型土嚢設置工	N=	18	袋
アルミ引違窓撤去工 1,600×1,200 A=1.6×1.2×26=49.92m ²	N=	26	枚
アルミ窓撤去工 900×950 A=0.9×0.95×2=1.71m ²	N=	2	枚
アルミはめ殺し窓撤去工 1,700×400 A=1.7×0.4×1=0.68m ²	N=	1	枚
アルミはめ殺し窓撤去工 1,600×400 A=1.6×0.4×2=1.28m ²	N=	2	枚
アルミはめ殺し窓撤去工 700×1,500 A=0.7×1.5×2=2.10m ²	N=	2	枚
アルミ面開きドア撤去工 1,700×2,000 A=1.7×2.0×1=3.40m ²	N=	1	枚
アルミ引戸撤去工 (引ポンプ室・電気室) 1,700×2,300 A=1.7×2.3×2=7.82m ²	N=	2	枚
(掘削土量) ※数量根拠図参照	(V=)	22.07	m ³
(埋戻土量) ※数量根拠図参照	(V=)	68.92	m ³

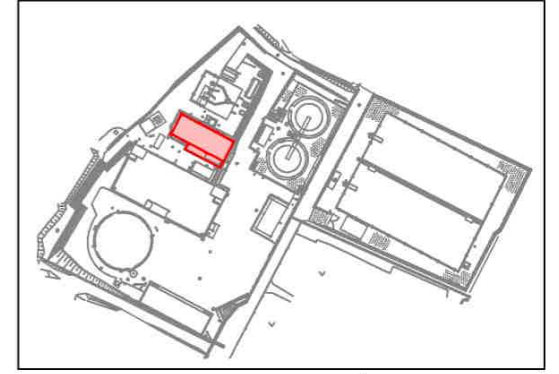
凡例

	撤去範囲
	掘削・埋戻
	埋戻

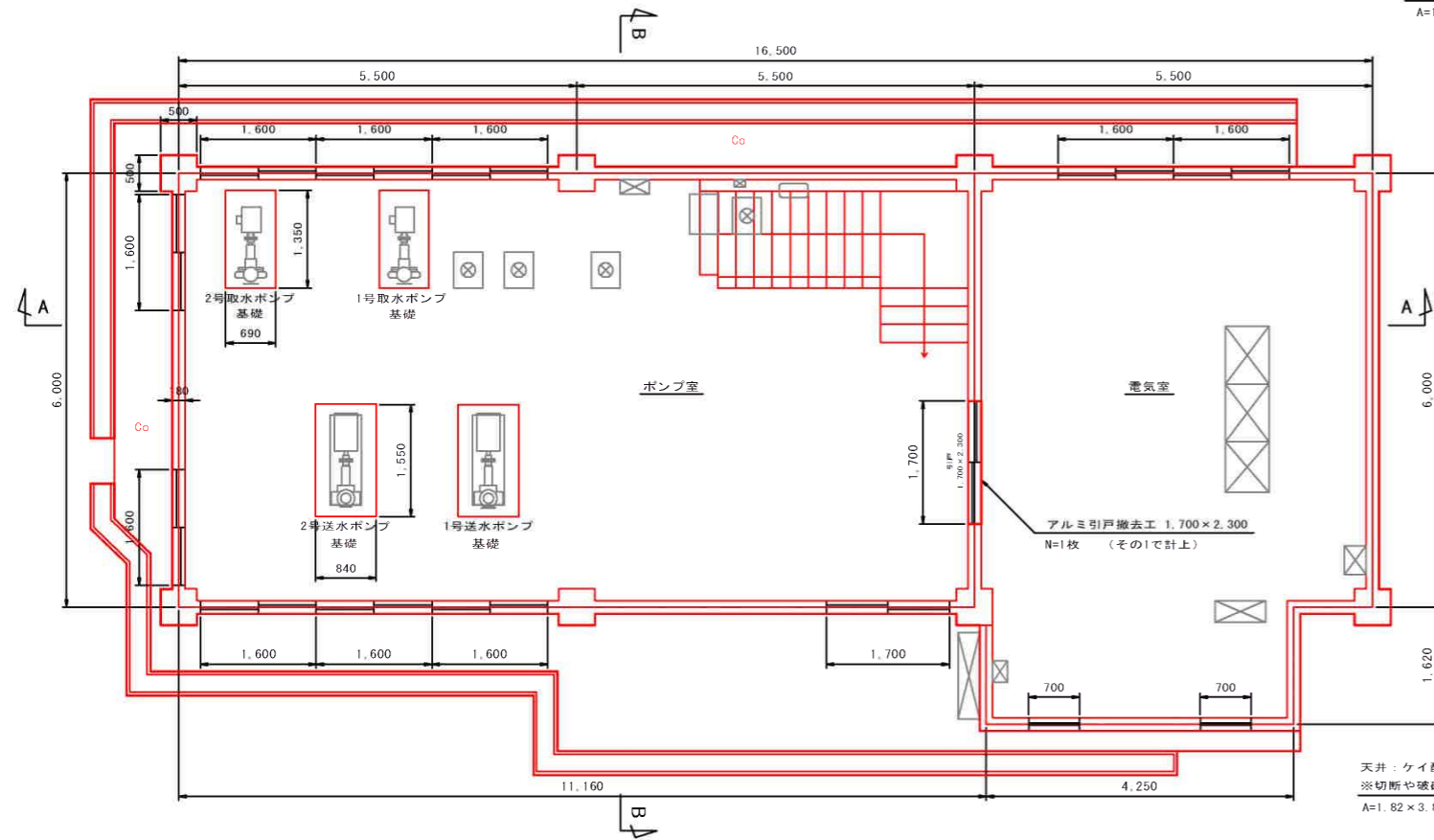
令和8年度 上水道事業	
滝野浄水場ほか除却工事 (第3工区)	
加東市 北野 763番地 (滝野浄水場)	
管理棟撤去図 (その1)	3/8 業全
縮尺 1:50	
加 東 市	

管理棟撤去図 (その2) S=1:50

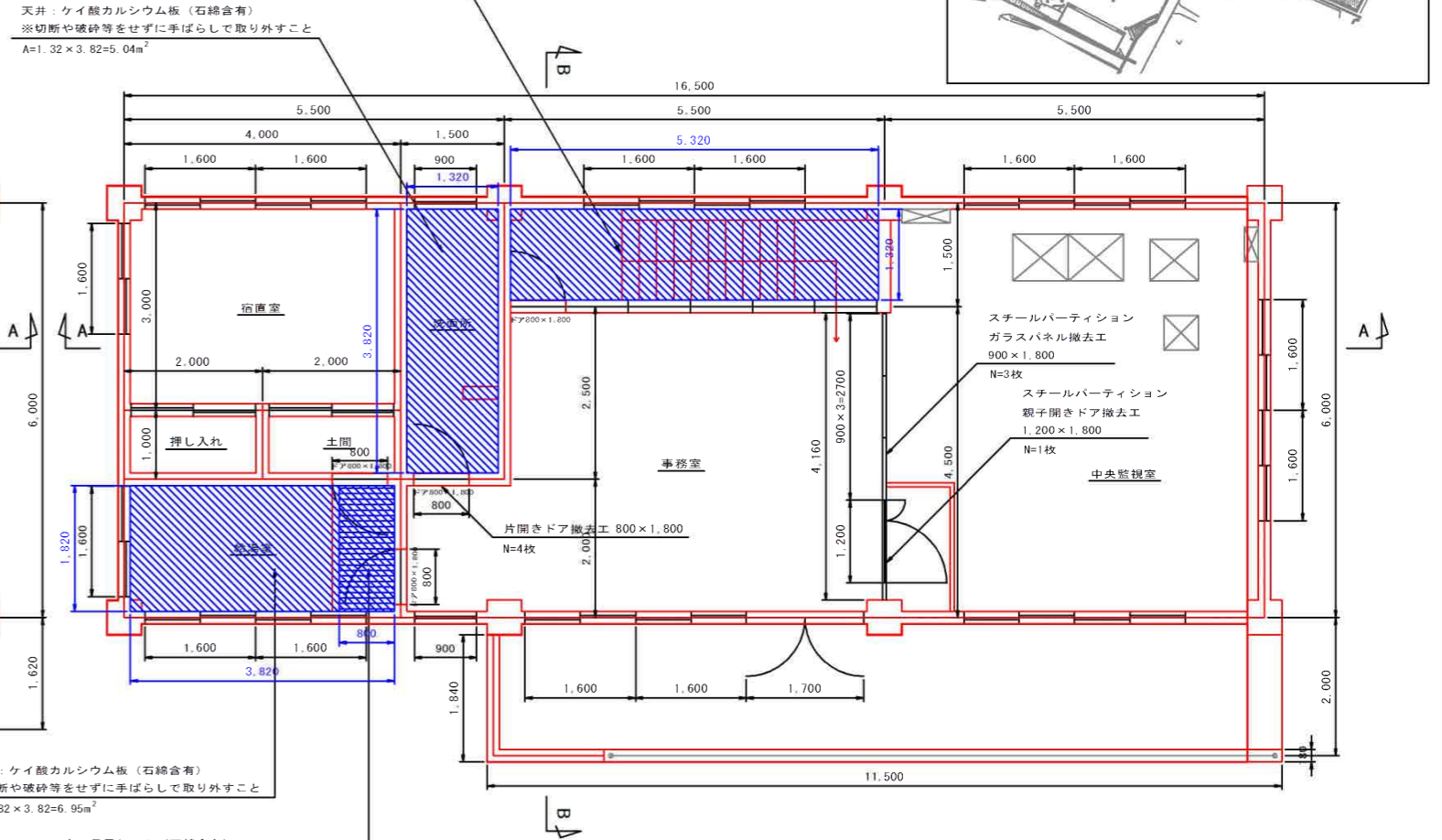
位置図



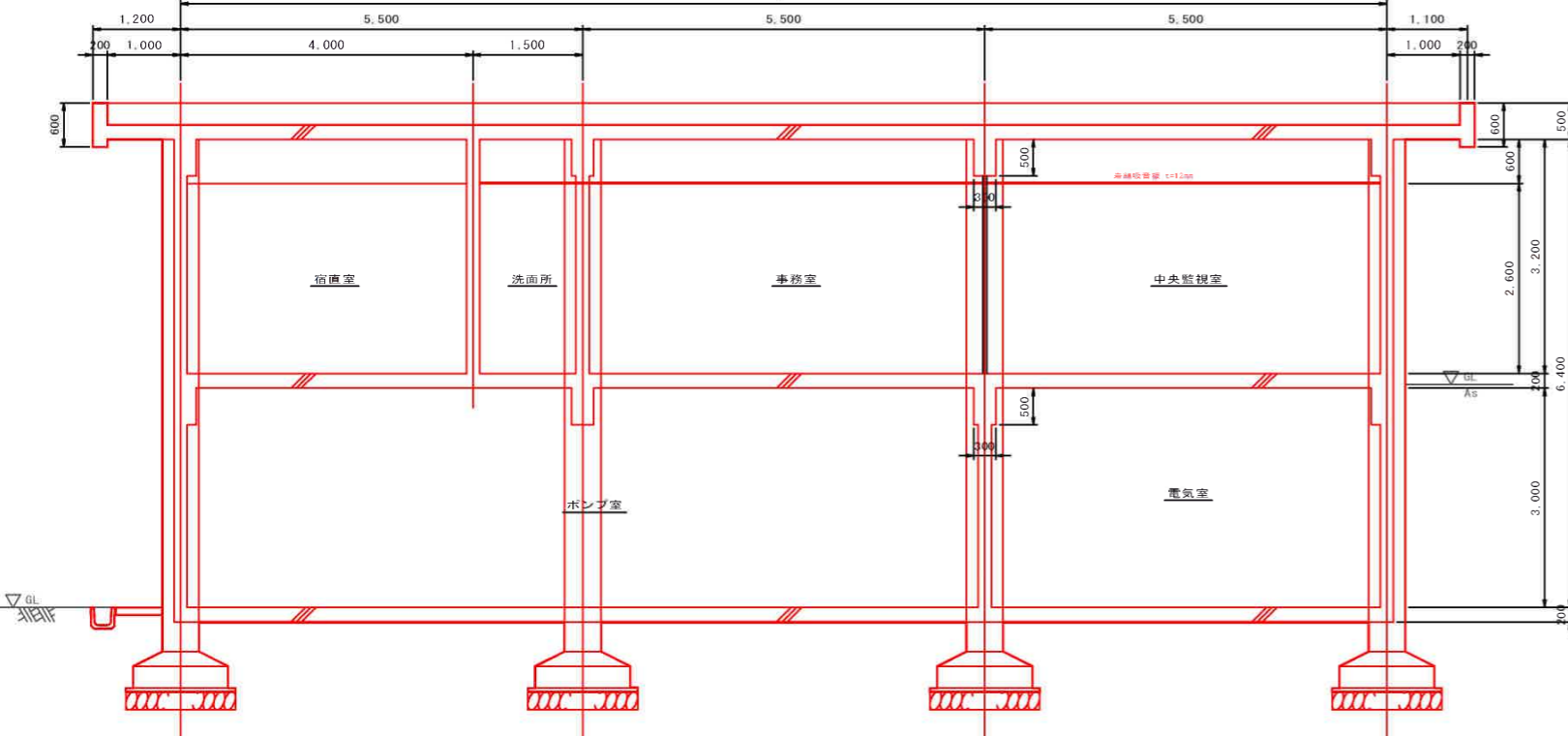
1F平面図



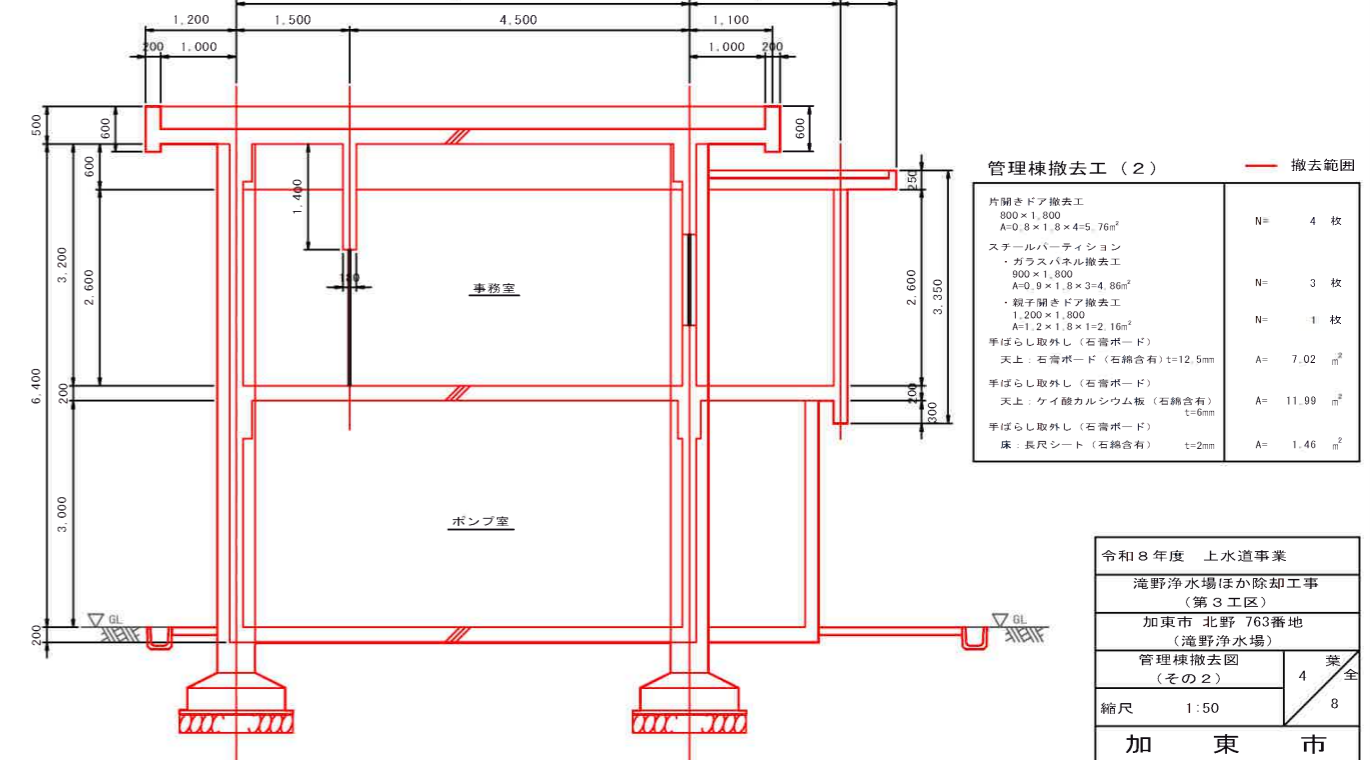
2F平面図



A-A断面図



B-B断面図



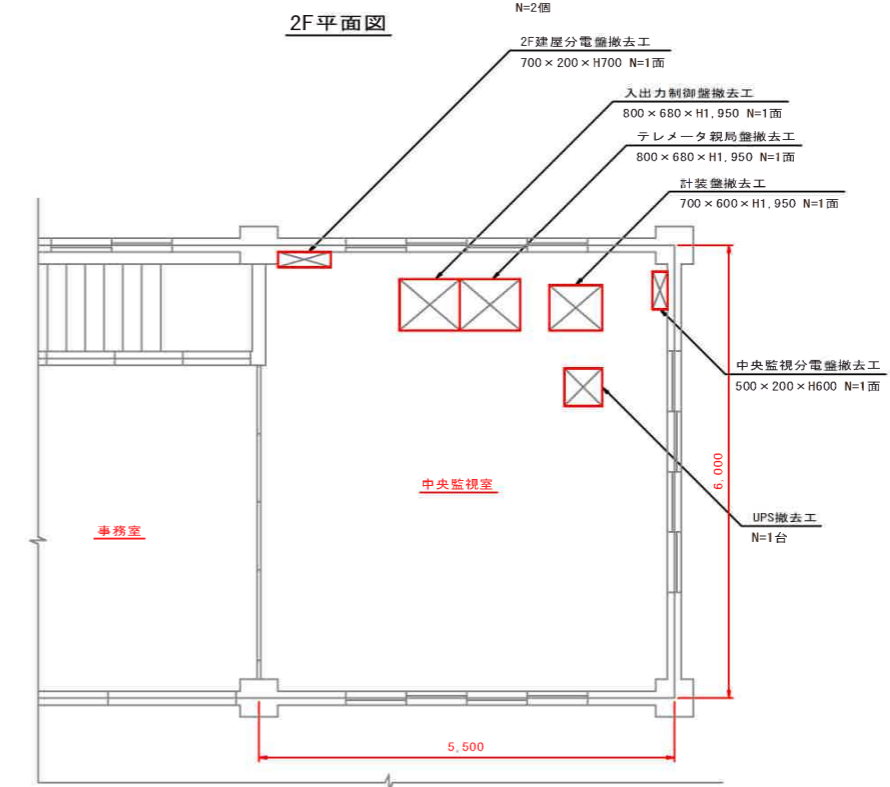
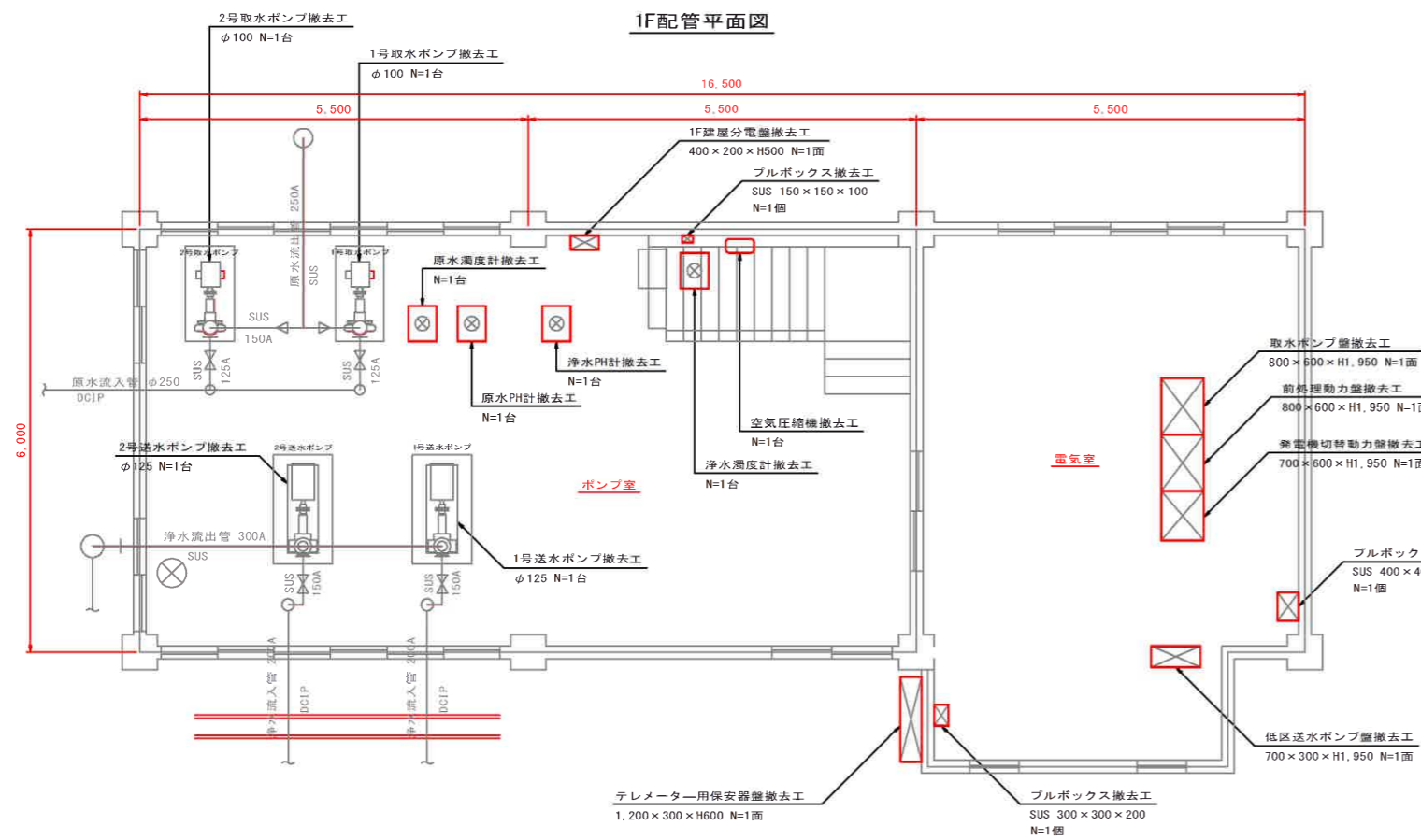
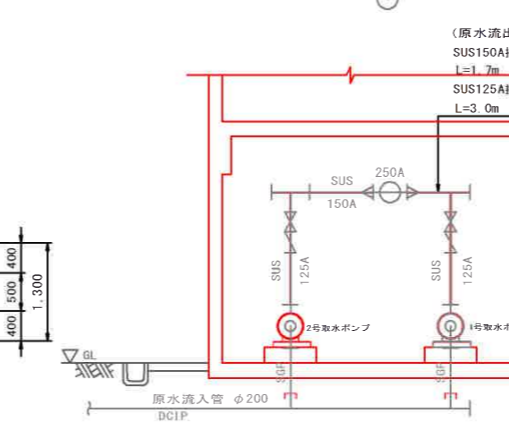
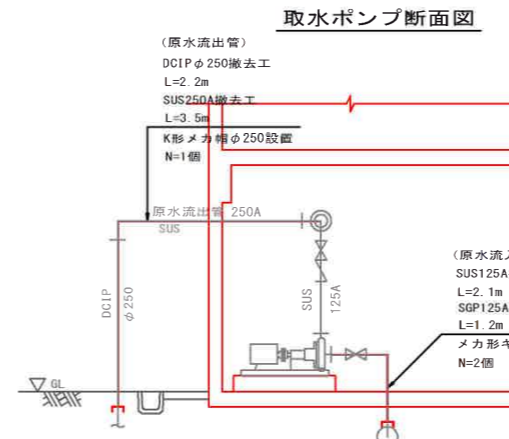
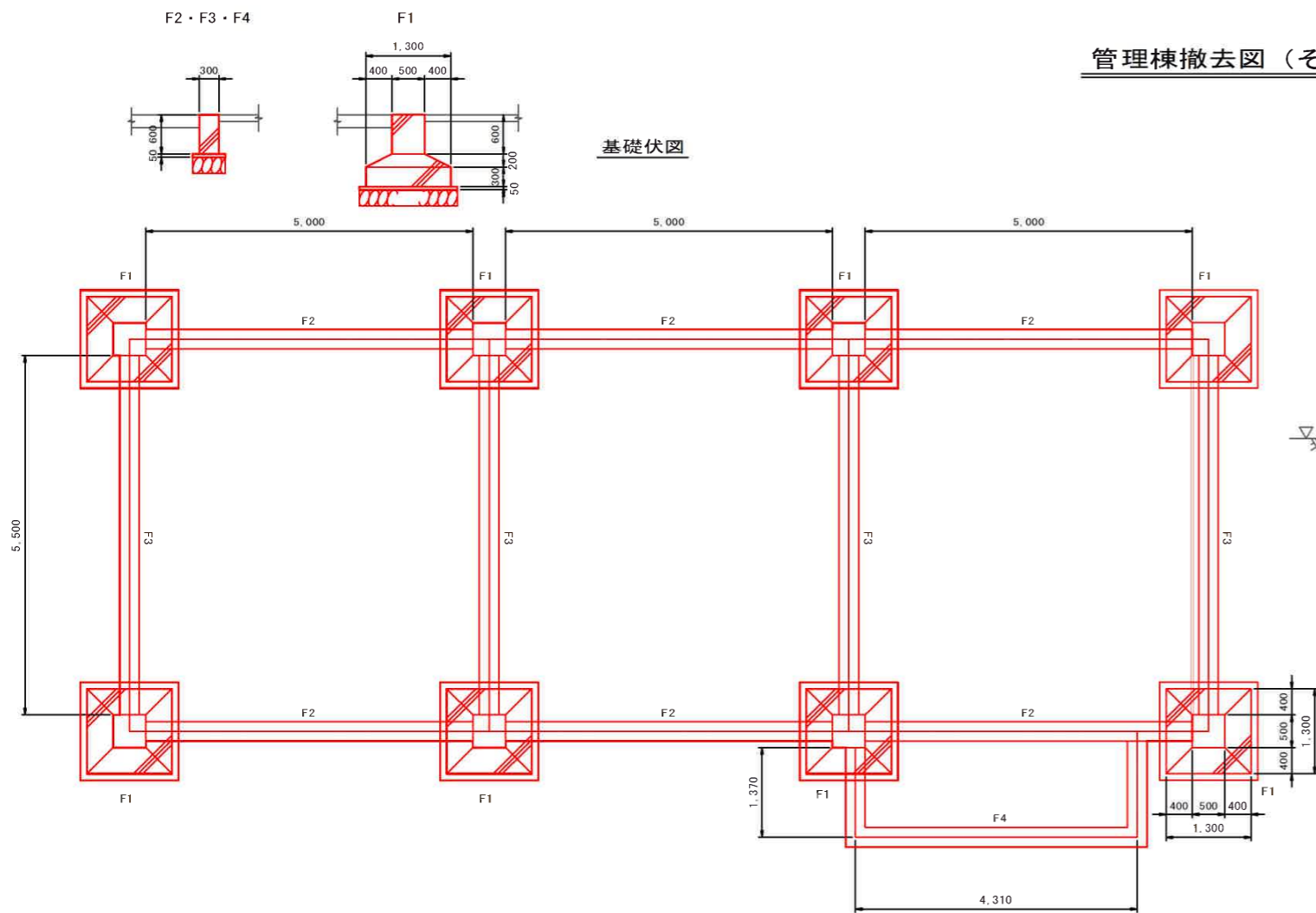
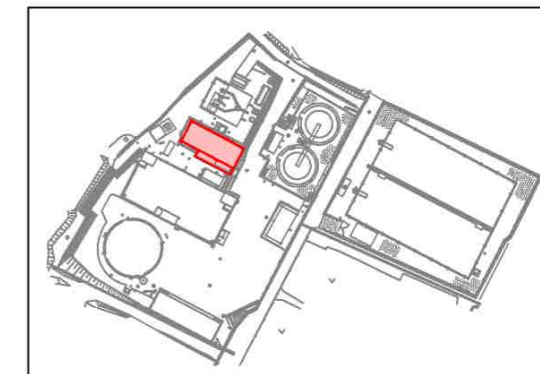
撤去範囲	数量	面積
片開きドア撤去工 800×1,800 A=0.9×1.8×3=4.86m ²	N=4枚	19.44m ²
スチールパーティション・ガラスパネル撤去工 900×1,800 A=0.9×1.8×3=4.86m ²	N=3枚	14.58m ²
鋼子開きドア撤去工 1,200×1,800 A=1.2×1.8×1=2.16m ²	N=1枚	2.16m ²
手ばらし取外し (石膏ボード)		
天井：石膏ボード (石綿含有) t=12.5mm	A=7.02m ²	7.02m ²
手ばらし取外し (石膏ボード)		
天井：ケイ酸カルシウム板 (石綿含有) t=6mm	A=11.99m ²	11.99m ²
手ばらし取外し (石膏ボード)		
床：長尺シート (石綿含有) t=2mm	A=1.46m ²	1.46m ²

令和8年度 水道事業	
滝野浄水場ほか除却工事 (第3工区)	
加東市 北野 763番地 (滝野浄水場)	
管理棟撤去図 (その2)	4/8 業全
縮尺 1:50	
加東市	

基礎部詳細図

位置図

管理棟撤去図 (その3) S=1:50

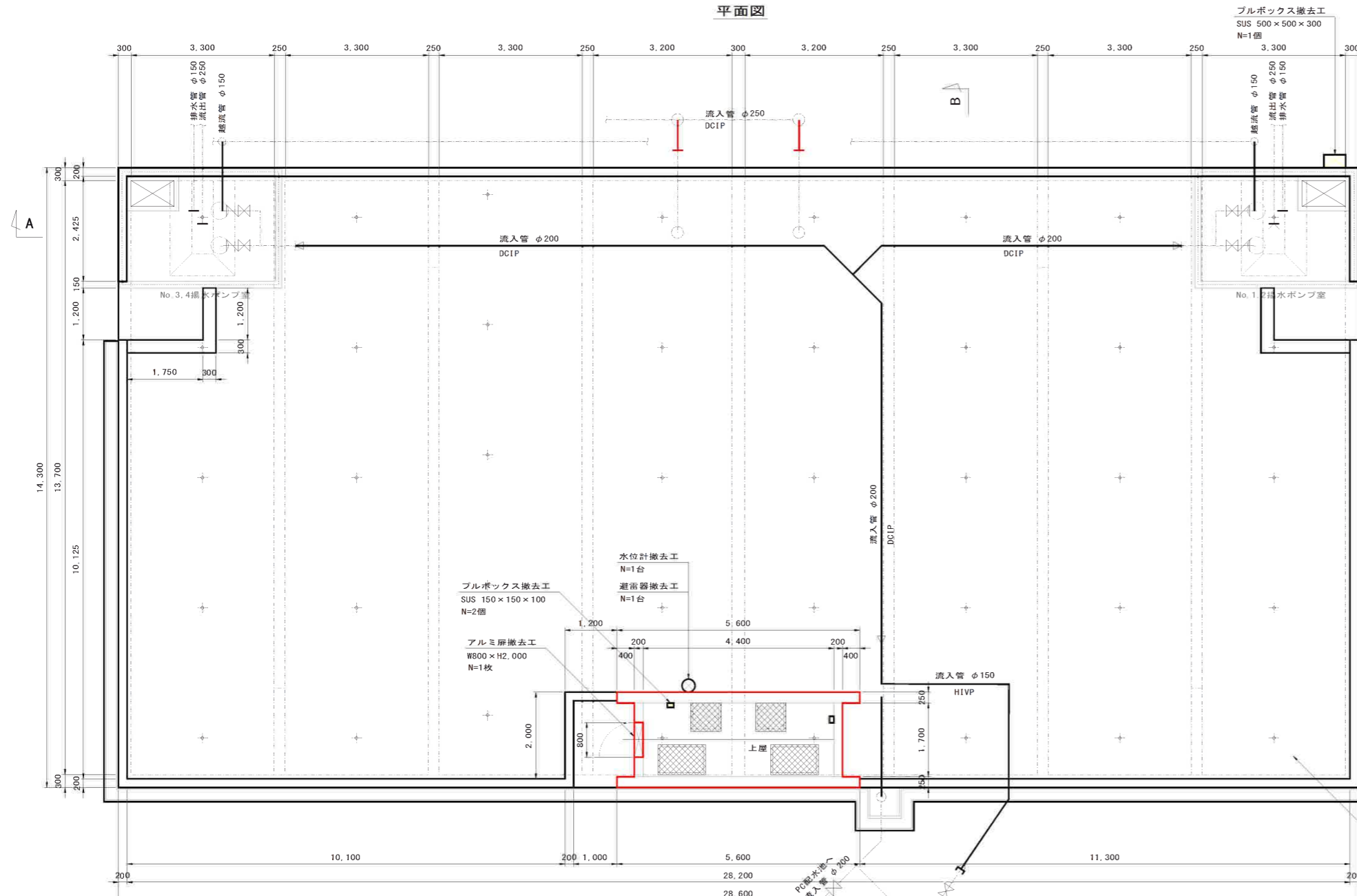


管理棟撤去工 (3) 撤去範囲

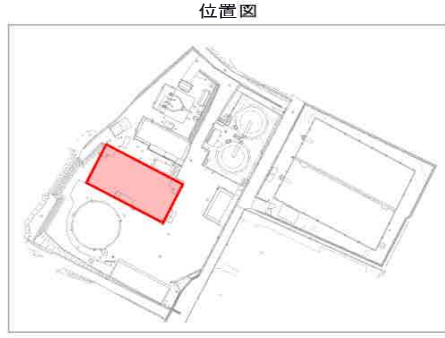
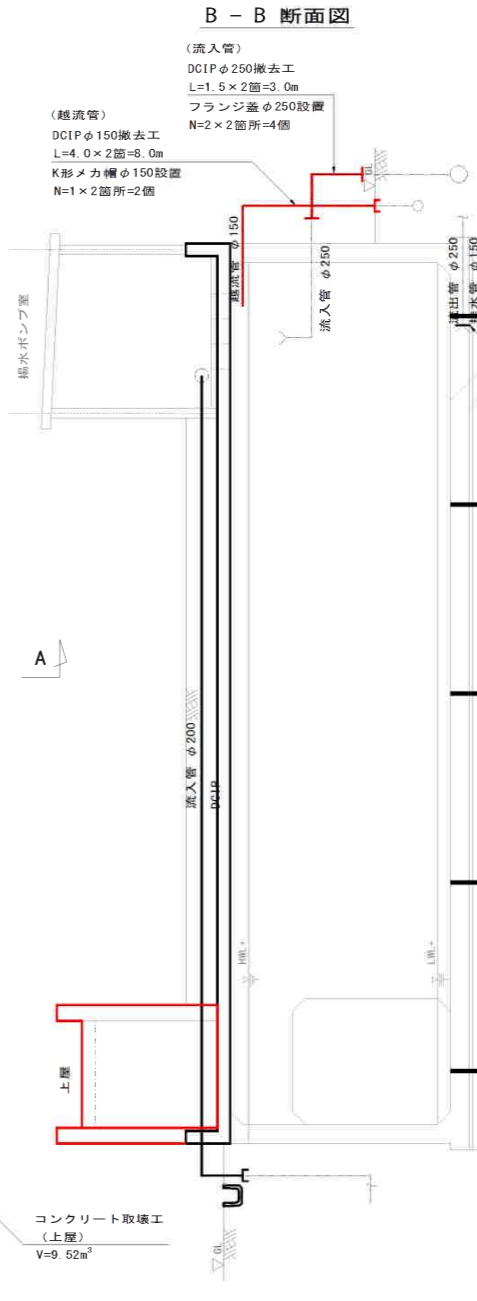
2F建屋分電盤撤去工 700×200×H700	N=	1面
入出力制御盤撤去工 800×680×H1,950	N=	1面
テレメータ親局盤撤去工 800×680×H1,950	N=	1面
計装盤撤去工 700×600×H1,950	N=	1面
中央監視分電盤撤去工 500×200×H600	N=	1面
UPS撤去工	N=	1台
取水ポンプ盤撤去工 800×600×H1,950	N=	1面
前処理動力盤撤去工 800×600×H1,950	N=	1面
発電機切替動力盤撤去工 700×600×H1,950	N=	1面
低区送水ポンプ盤撤去工 700×300×H1,950	N=	1面
テレメータ用保安器盤撤去工 1,200×300×H600	N=	1面
1F建屋分電盤撤去工 400×200×H600	N=	1面
ブルボックス撤去工 SUS 400×400×300	N=	1個
SUS 300×300×200	N=	1個
SUS 150×150×100	N=	1個
1号取水ポンプ撤去工 φ100	N=	1台
(157kg/台) 0.1570 t		
2号取水ポンプ撤去工 φ100	N=	1台
(157kg/台) 0.1570 t		
1号送水ポンプ撤去工 φ125	N=	1台
(349kg/台) 0.3490 t		
2号送水ポンプ撤去工 φ125	N=	1台
(349kg/台) 0.3490 t		
(原水流出管撤去) DCIP φ250撤去工 L=2.2m	L=	2.2m
SUS250A撤去工 L=3.5m	L=	3.5m
SUS150A撤去工 L=1.7m	L=	1.7m
SUS125A撤去工 L=3.0m	L=	3.0m
K形メカ種φ250設置 N=1個	N=	1個
(原水流入管撤去) SUS125A撤去工 L=2.1m	L=	2.1m
SGP125A撤去工 L=1.2m	L=	1.2m
メカ形キャップ (鋼管用) φ125設置 N=2個	N=	2個
(浄水流出管撤去) DCIP φ300撤去工 L=2.0m	L=	2.0m
SUS300A撤去工 L=5.6m	L=	5.6m
SUS125A撤去工 L=2.4m	L=	2.4m
(浄水流入管撤去) SUS150A撤去工 L=2.4m	L=	2.4m
SGP150A撤去工 L=1.5m	L=	1.5m
メカ形キャップ (鋼管用) φ150設置 N=2個	N=	2個
空気圧縮機撤去工 N=1台 (95kg/台) 0.0950 t	N=	1台
浄水高度計撤去工 N=1台	N=	1台
浄水用計撤去工 N=1台	N=	1台
原水用計撤去工 N=1台	N=	1台

浄水池撤去図 S=1:60

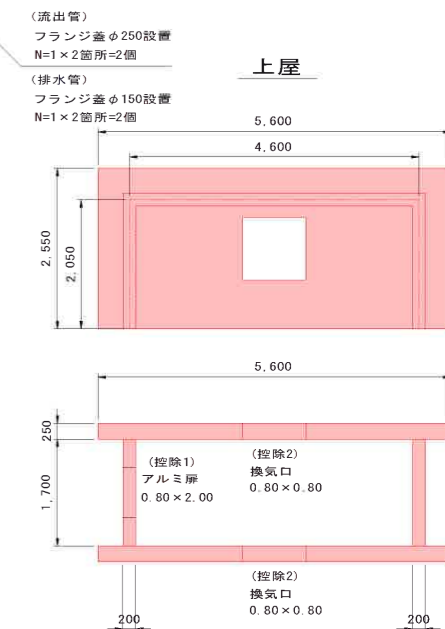
平面図



B - B 断面図



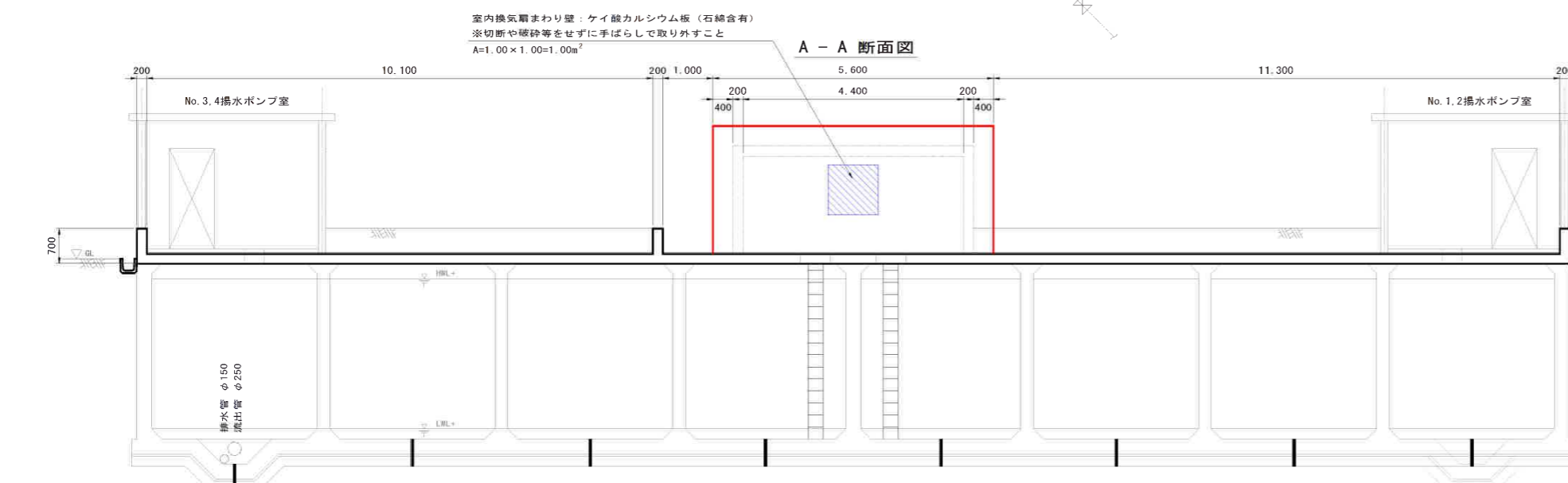
上屋



浄水池取壊し容積計算表

V1: 上屋	5.60 × 2.55 × 0.25 × 2	= 7.14m ³
(控除1)	1.70 × 0.20 × (2.05 × 2 + 4.60)	= 2.96m ³
(控除2)	-0.80 × 2.00 × 0.20	= -0.32m ³
(控除2) × 2	-0.80 × 0.80 × 0.20 × 2	= -0.26m ³
計		9.52m ³

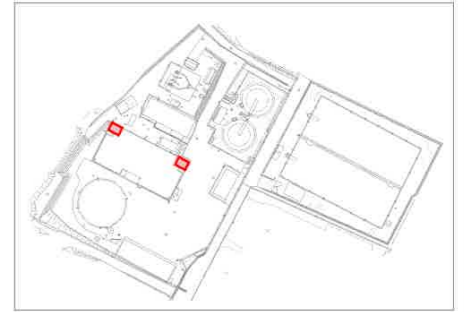
A - A 断面図



浄水池撤去工

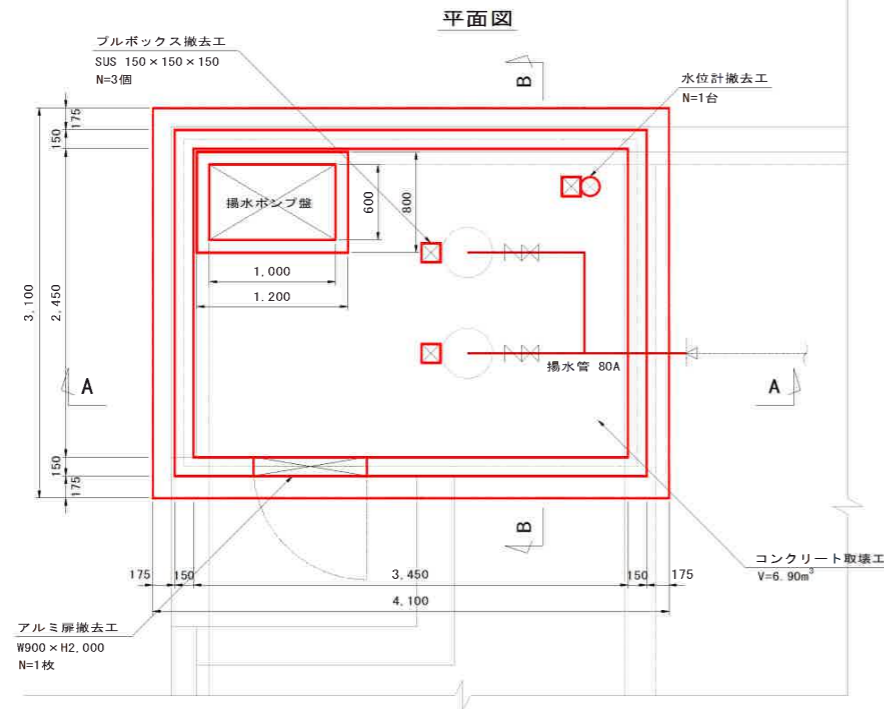
コンクリート取壊工 (上屋)	V=	9.52 m ³
水位計撤去工	N=	1 台
避雷器撤去工	N=	1 台
アルミ屏撤去工 W800×H2,000 W800×H2,000	N=	1 枚
	A=	1.60 m ²
プルボックス撤去工 SUS 500×500×300	N=	1 個
SUS 150×150×100	N=	2 個
(流入管撤去) DCIP φ250撤去工	L=	3.0 m
フランジ蓋 φ250設置	N=	4 個
(超流管撤去) DCIP φ150撤去工	L=	8.0 m
K形メカ幅 φ150設置	N=	2 個
手ばらし取外し (石膏ボード) 室内換気扇まわり壁: ケイ酸カルシウム板 (石綿含有)	A=	1.00 m ²





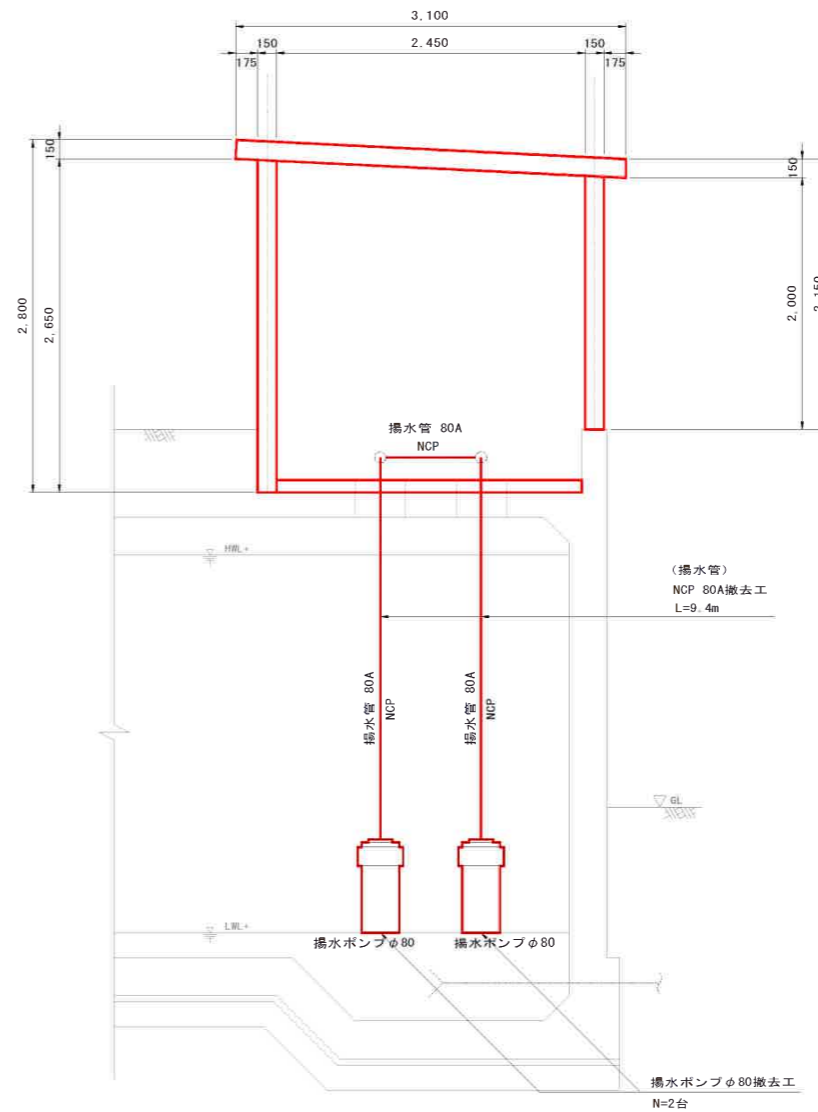
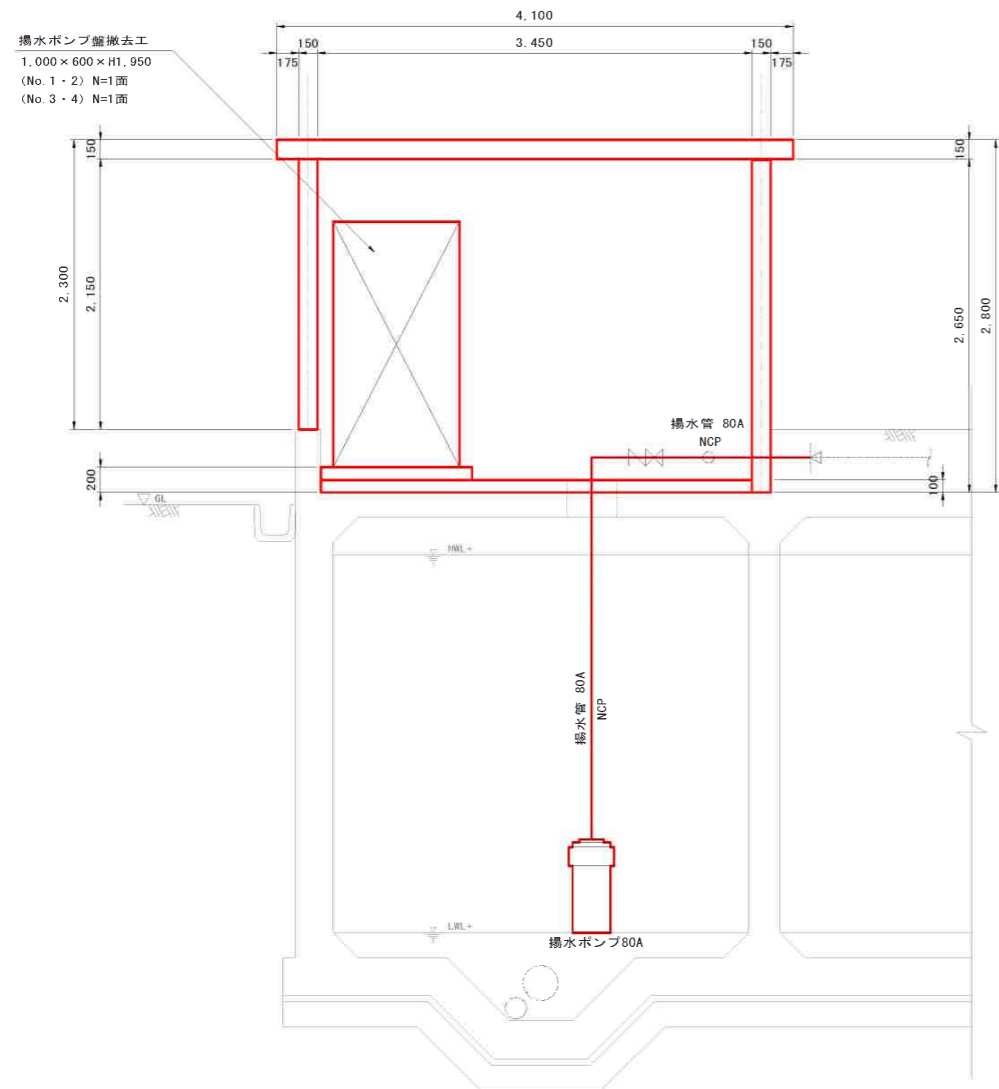
揚水ポンプ室撤去図 S=1:30

※No. 1, 2とNo. 3, 4の揚水ポンプ室構造は左右対称とする



A - A 断面図

B - B 断面図

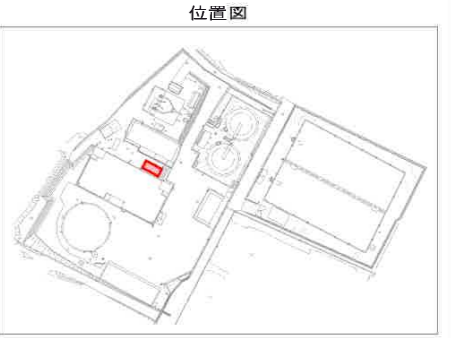


揚水ポンプ室 (2箇所) 撤去工

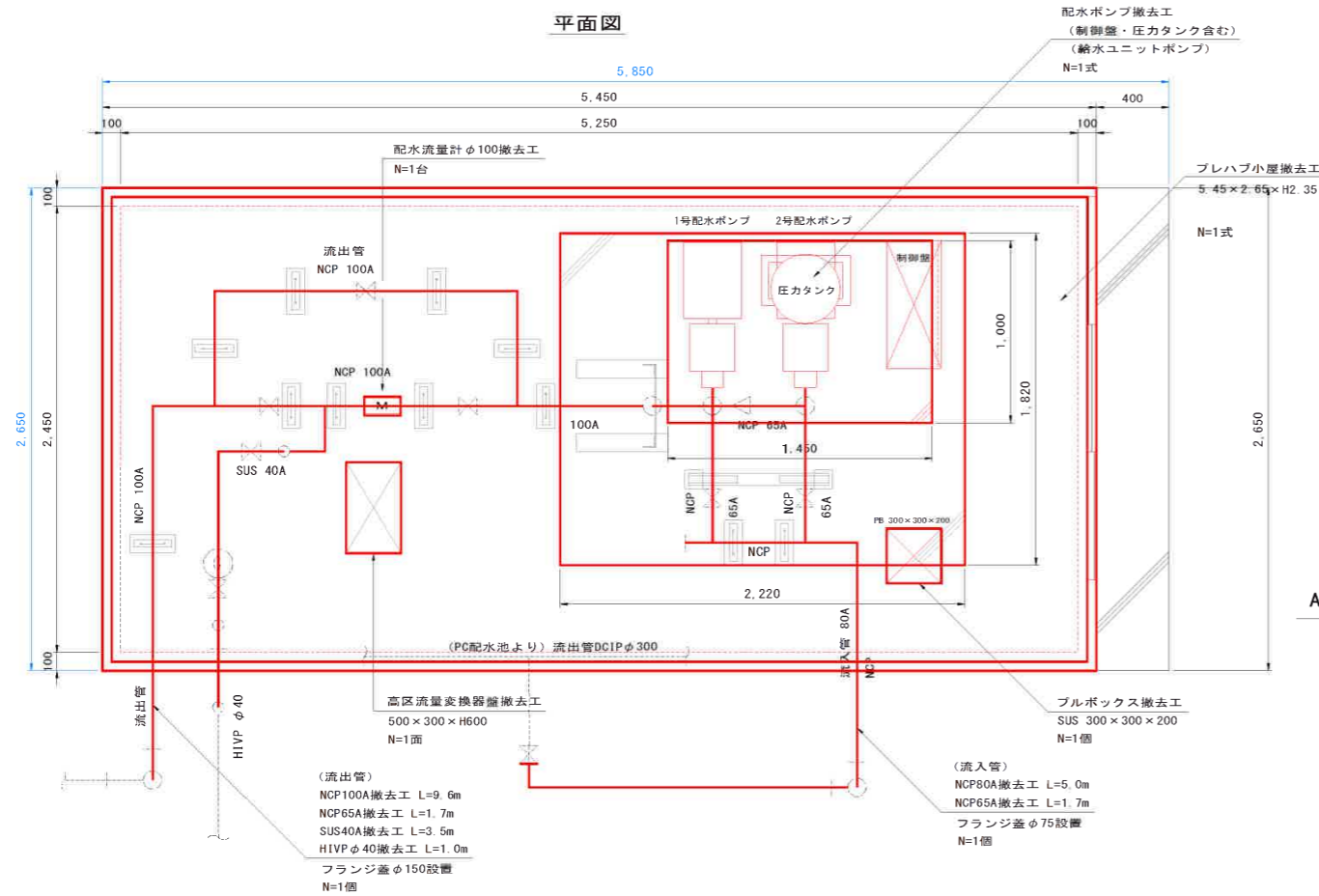
※すべて撤去
撤去範囲

コンクリート取壊工	V= 6.90 × 2= 13.80 m ³
アルミ扉撤去工 W900×H2,000 (揚水管撤去)	N= 1 × 2= 2 枚
NCP 80A撤去工	L= 9.4 × 2= 18.8 m
揚水ポンプφ80撤去工	N= 2 × 2= 4 台 (36kg/台) 0.1440 t
No.1・2揚水ポンプ撤去工 1,000×600×H1,950	N= 1 面
No.3・4揚水ポンプ撤去工 1,000×600×H1,950	N= 1 面
水位計撤去工	N= 1 × 2= 2 台
ブルボックス撤去工 SUS 150×150×150	N= 3 × 2= 6 個

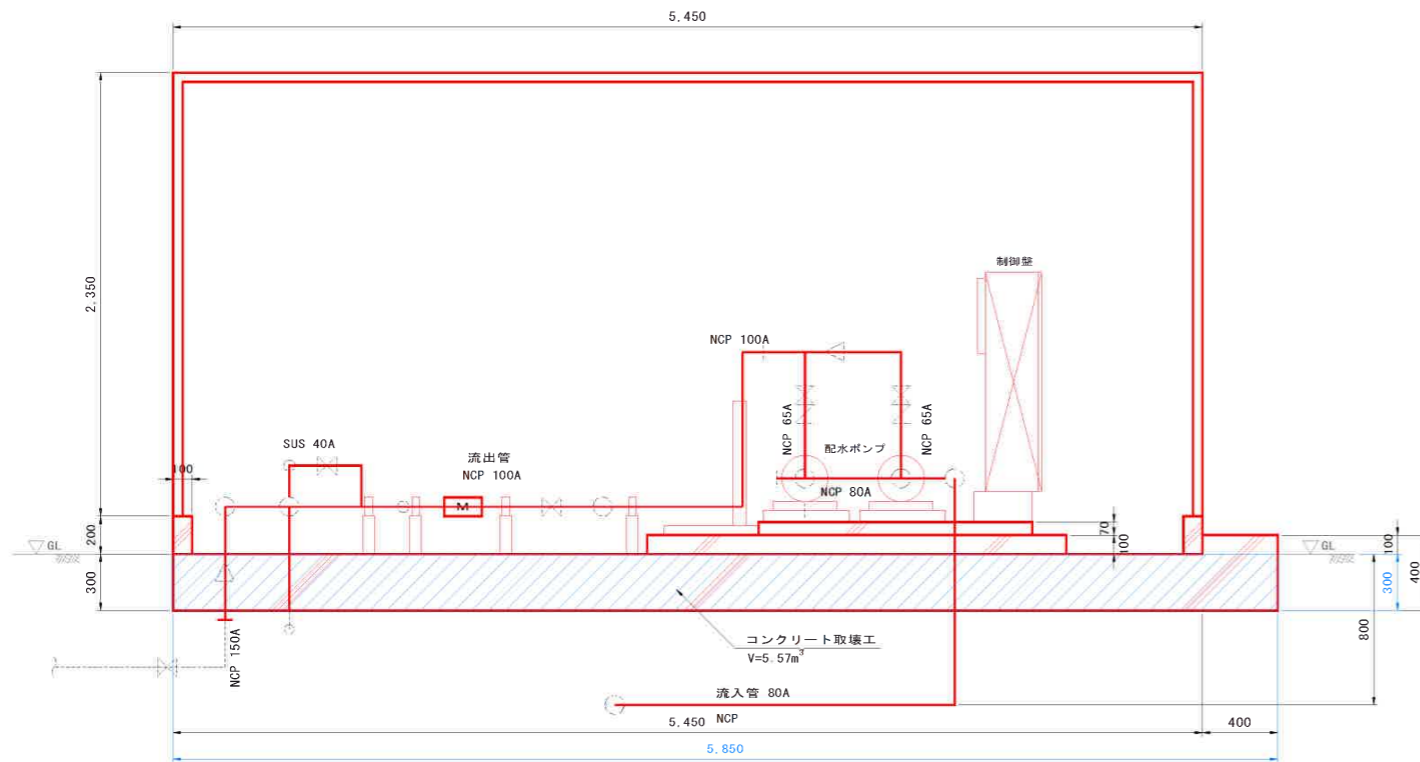
配水ポンプ室撤去図 S=1:20



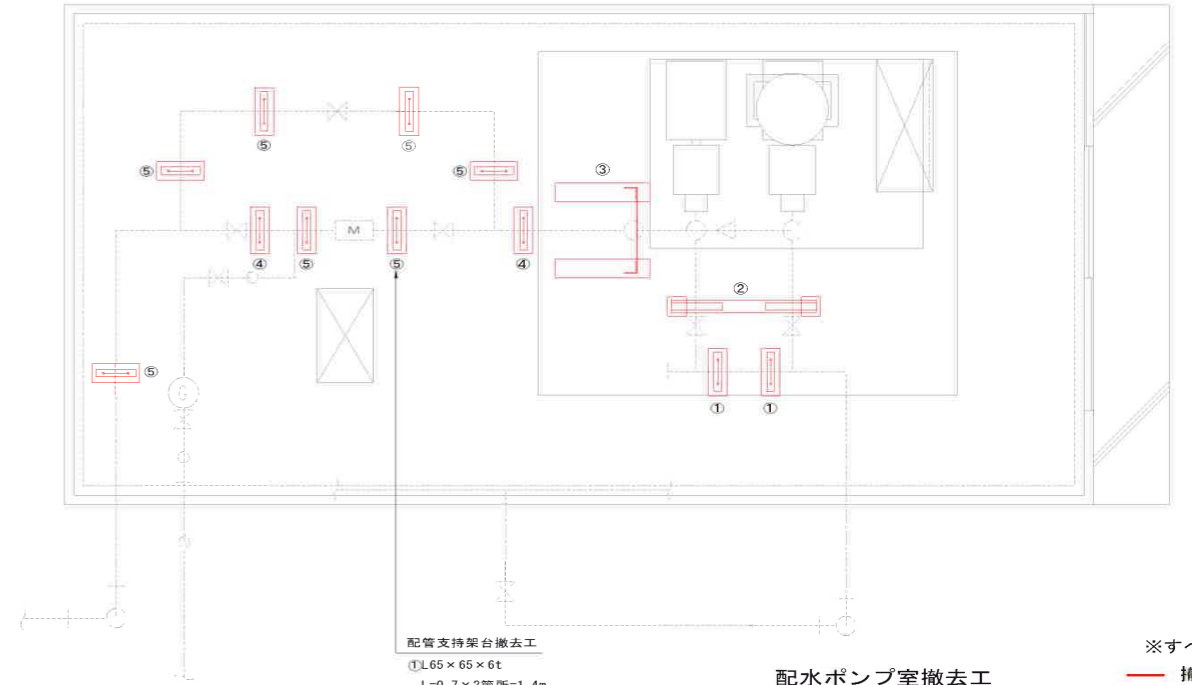
平面図



A-A 断面図



配管支持架台平面図



- 配管支持架台撤去工
- ① L65×65×6t
L=0.7×2箇所=1.4m
 - ② L65×65×6t
L=1.2×1箇所=1.2m
 - ③ L65×65×6t
L=1.3×1箇所=1.3m
 - ④ L65×65×6t
L=0.6×2箇所=1.2m
 - ⑤ L65×65×6t
L=0.9×7箇所=6.3m
 - 合計
L=11.4m

配水ポンプ室撤去工

項目	数量	単位	体積 (V)	重量 (W)
コンクリート取壊工	V=	m ³	5.57	
プレハブ小屋撤去工	N=	1 式		
配水ポンプ撤去工 (制御盤・圧カタンク含む) (給水ユニットポンプ)	N=	1 式 (659kg)		0.6590 t
(流入管撤去)				
NCP80A撤去工	L=	5.0 m		
NCP65A撤去工	L=	1.7 m		
フランジ蓋φ75設置	N=	1 個		
(流出管撤去)				
NCP100A撤去工	L=	9.6 m		
NCP65A撤去工	L=	1.7 m		
SUS40A撤去工	L=	3.5 m		
HIVPφ40撤去工	L=	1.0 m		
フランジ蓋φ150設置	N=	1 個		
配水流量計φ100撤去工	N=	1 台		
高区流量変換器撤去工 500×300×H600	N=	1 面		
配管支持架台撤去工	L=	11.4 m		
①~⑤ L65×65×6t		(5.91kg/m)		0.0673 t
ブルボックス撤去工 SUS 300×300×200	N=	1 個		
(埋戻土量)		5.85×2.65×0.30	(V=)	4.65 m ³



仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条 (目 的)

この仕様書は、加東市が行う施設除却工事の施工の適正を期するため、監督員及び受注者が遵守しなければならない工事の仕様を示すことを目的とする。

第 2 条 (適 用)

この仕様書は、令和 8 年度 上水道事業 滝野浄水場ほか除却工事 (第 3 工区)の施工に適用する。

第 3 条 (用語の定義)

次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1. 監督員 市長に代わって工事の施工を指示監督する職員のこと。
2. 指 示 監督員が受注者に工事の施工に関する方針、基準、計画等を示し実施させること。
3. 承 認 受注者が監督員に報告し、監督員が了解すること。
4. 協 議 監督員と受注者が協議すること。
5. 立会い 受注者が監督員に申し出て、監督員が現場に臨むこと。

第 4 条 (施工計画)

受注者は契約締結後、次の各号の手続を行うこと。

1. 工事着手は契約締結日の翌日とし、工事施工計画及び下請人等通知書、主任技術者等経歴書、請負代金内訳書、工程表を監督員に提出すること。なお、現場代理人と主任技術者は兼ねることができる。
2. 受注者は、工事着工前（契約書に定める工事着手日以降 30 日以内）に施工計画書を監督員に提出すること。
3. 工程表その他を変更するときは、その都度監督員に届け出て、監督員の指示に従うこと。
4. 設備関係及び主要工事について、監督員の指示する工程会議に出席し、打合せ議事録を 5 日以内に提出すること。

第 5 条 (受注者の負担)

受注者は、次の各号に要する軽微な費用について負担しなければならない。

1. 軽易な事項で設計図書又は本仕様書に明記していないことでも、施工上あるいは、使用上欠くことのできない材料及び作業の費用。
2. 施工上障害となる地下、地上の物件の取り除き、原形復旧又は保護設備の設置、工事により生じた不用物品の跡片付けに要する費用。
3. 各種試験検査及び工事写真、完成図面の作成等に要する費用。
4. 設計図に明示されなくとも必要な仮橋、仮道、仮水路、交通標識及び防災保安上必要な仮設備の設置並びに原形復旧に要する費用。
5. 道路で施工中の交通整理費及び道路維持に要する費用。
6. 工食用電力及び水道設備の設置費、撤去費並びに使用料金。
7. その他、受注者の責めに帰する事項に要する費用。

第 6 条 (使用材料)

1. 使用材料は、加東市の支給する材料を除き受注者が調達すること。なお、支給材料は所定の場所に運搬、保管し、残品は監督員の指示する場所に返納すること。
2. 受注者は、支給材料及び貸与品を慎重に取り扱い、破損や紛失したときは、監督員の指示に従い補修または賠償しなければならない。ただし、賠償の場合は現物弁償を原則とする。
3. 受注者が調達する配管材で上水道規格品については、日本水道協会検査員の検収済材料を使用すること。特殊製品については、性能立会検査を行い合格したものを使用する。また、管材料を工事に使用するときは、その都度、種類、員数、規格、品質等について、日本水道協会発行の検査済証を提出し、監督員の承認を受けること。
4. 使用材料の適用規格は次の規格とする。

J I S	J W W A	J E M	J E C	J C S
電気用品取締法	その他関係諸規格			

第 7 条 (工事現場管理)

1. 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事に関する一切の事項（労働関係法規、道路交通関係法規、公害防止関係法規、危険物取扱関係法規、電気設備技術基準、内線工事基準、土木工事安全施工技術指針（建設省大臣官房技術参事官、昭和43年6月）、消防法、その他工事施工上必要な法規）を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法規の運用は、受注者の負担と責任において行われなければならない。
2. 受注者は、一般通行人が見やすい場所に工事名、工期、事業主体名、受注者の住所氏名並びに現場代理人の氏名を記入した大型の標示板を設置すること。特に道路に関する工事を行うときは、道路管理者、監督員及び所轄警察署と協議し、道路標識令、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知 昭和37年8月30日）及びその他の基準に基づき、柵、道路標識、危険標識、夜間赤色注意灯等を設置し、安全交通に必要な万全の処置を講じなければならない。
3. 受注者は監督員の指示により、作業方法、材料機器の搬入、盗難、火災予防の警備方法等について概略説明書を提出し、承認を得ること。
4. 受注者は監督員の指示により、工事施工によって生じた現場発生品を集積し、搬出し、場内を清潔にするとともに、適切な防火、防災対策を講じなければならない。
5. 受注者は、工事中又は引渡し完了までの仮設備、材料並びに機器の盗難、火災、破損等の被害に備え十分に警備をすること。
6. 受注者は、工事現場が隣接し又は同一場所において別途工事がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないよう処置しなければならない。
7. 受注者は、工事施工中、監督員の許可なく流水及び水陸交通の妨害となる行為又は公衆に迷惑を及ぼす施工等をしてはならない。
8. 受注者は、市街地における工事は、市街地土木工事公衆災害防止対策要綱（建設省事務次官通達 昭和39年10月1日付）に準拠して災害の防止に努めな

なければならない。

9. 豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておかなければならない。
10. 火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、その保管及び取扱いについて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。なお、火薬類を使用し工事を施工するときは、あらかじめ監督員の承認を得ること。
11. 工事施工について住民の生活、営業に支障を及ぼすおそれがあるときは、近隣住民と協議の上、支障のないように工法及び使用機器を検討し、監督員の承認を得て施工すること。
12. 受注者は、工事の施工に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、又は第三者に損害を与えた事故が発生したときは、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。なお、危険防止の設備を怠って生じた事故に対しては、受注者の責任で処置すること。
13. 受注者は、工事用運搬路として道路を使用するときは、常に良好な状態に保持するよう努めなければならない。
14. 受注者は工事施工に際し、現場代理人の身分を明示した腕章を着用させること。

第 8 条 (既設物の保護)

1. 工事の施工に支障を及ぼす地上、地下の既設物等は、監督員の承認を得て丁寧に取り除き、又は保護を施し、工事の進捗にともない速やかに原形復旧すること。
2. 詳細が不明な既設埋設管（ガス管、水道管、下水道管、電気ケーブル、電話ケーブル等）に対しては試験掘を行い、埋設管の位置及び深さを確認の上、必要に応じて保護工等を施すこと。なお、試験掘に先立ち関係機関等に立会いを求め、立会者から指示があった場合はこれに従うこと。また、ガス管付近の掘削を行う場合は、ガス漏等の有無を確認すること。

第 9 条 (官公庁及び関係機関への手続)

1. 受注者は、関係官公庁その他に対して交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議すること。

第 10 条 (作業時間)

1. 工事の作業時間は、各種規定、許可及び監督員の指示による。ただし、緊急を要する場合は、監督員と協議の上、承認を得て延長すること。
2. 工事施工中、監督員から作業時間の延長又は夜間作業を指示された場合、受注者はこれに応じなければならない。

第 11 条 (工事の変更及び中止)

1. 監督員が必要と認める場合は、工事の内容を変更し、若しくは一時中止を指示する。
2. 受注者は、工事に支障を及ぼす天候、その他正当な理由により工期内に工事を完成することができないときは、その理由を付して工期の延長を求めることができる。

第 12 条 (施工管理)

1. 受注者は、兵庫県土木工事施工管理基準などを用いて施工管理を行い、その記

録を監督員に提出しなければならない。

2. 受注者は工事内容と必要事項を記載した工事日報を、提出しなければならない。

第13条（施工検査）

1. 受注者は、監督員が指示した主要な工事及び工事完成検査の困難な工事については、施工順序に従って、段階ごとに検査員の検査を受けて合格した後、次の施工に着手しなければならない。
2. 支持力検査、材料検査等の諸検査は、原則として監督員立会いで受注者が行い、その結果表をすみやかに監督員に提出し、承認を受けなければならない。
3. 検査に合格した材料でも、使用前又は使用中に不良を発見したときは、監督員の指示により処置すること。

第14条（提出書類）

受注者は、次の関係書類を監督員に提出しなければならない。

1. 工事写真

- (1) 工事写真を整理編集し、監督員が随時点検できるようにするとともに、工事完成の際に提出する。
- (2) 撮影は次のものと、監督員が特に指示するものとする。
 - ア 着工前の敷地の状況及び隣接建物の状況。
 - イ 工事中、工事の進捗状況並びに工場製作のものは製作の進行状況。
 - ウ 工事完成写真、内外主要箇所。

第15条（仕様の疑義）

工事施工にあたり図面と現場との状態が一致しないとき又は予期することのできない状態を発見したときは、遅滞なく監督員に知らせ指示を受けること。なお、処理については協議により決定する。

第16条（検査）

1. 工事完成検査は、工事目的物が設計図書に適合しているかを検査員が確認するものとし、これに合格しないときは、遅滞なく補修又は改造をして、再度検査員の検査を受けること。
2. 官公庁及び電力会社等の検査を受ける必要があるときは、受注者がすべての手続を代行するものとし、あらかじめ監督員の承認を受けること。

第17条（特許権等の使用）

受注者は、工事施工にあたり特許権、その他第三者の権利対象となる機器、施工方法等を使用するときは、その使用に関する全ての責任を負うこと。

第18条（契約不適合責任）

工事完成検査後の契約不適合責任は、契約書によるものとし、道路不陸、その他は1箇年、主要構造物、機器等は2箇年とする。

第19条（跡片付け）

受注者は、工事が完成したときは、跡埋め、跡片付け及び清掃等を工事期間内に完了しなければならない。

第20条（その他）

1. 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

2. 完成図書は、監督員の指定するイージーキャビネットに入れて提出すること。

第2章 特記事項

第1条（総則）

本工事の施工に当たっては、設計図書によるほか、「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「土木請負工事必携」、「小型構造物標準図集」（全て兵庫県土木部）、本仕様書によらなければならない。

第2条（工事概要）

本工事は、滝野浄水場の廃止に伴い不要となる施設を撤去することを目的とする。

第3条（工事範囲）

本工事は、滝野浄水場の不要となる施設の撤去を行うものである。

第4条（管撤去工事）

本工事場所において、地下埋設物が隣接している箇所では十分な事前調査（試掘調査など）を行い、工事に着手すること。

第5条（建設副産物の搬出）

本工事から発生する特定建設廃棄物のうち、Con殻（有筋）は、一組兵庫（株）（西脇市黒田庄町西澤160）への搬出を見込んでいる。また、石綿含有物・ガラスの処分については、（有）エコリサイクル（西脇市高松町字横山633-81）への搬出を見込んでいる。ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。

第6条（交通誘導員の配置）

本工事の施工に際しては、交通誘導員を計上していない。ただし、近隣からの要望等があった際には検討し、その理由の内容により設計変更の対象とする。

交通誘導員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員。

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

第7条 週休2日制度について

1. 本工事は原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事である。（受注者は契約後、週休2日を反映した施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は1ヶ月あたり2日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
3. 毎月、監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。

4. 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
5. 毎月、監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
6. 現場稼働中の工期〔工事着手前（現場測量等）、年末年始休暇6日間、夏期休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）の達成状況（平日振替日を含む）の確認のため受注者は「工事履行報告書」を提出すること。
7. 労務費等の補正については当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金を減額変更する。また、月単位の週休2日に満たないものは完全週休2日の補正係数を除し請負代金を減額変更する。
8. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任のものである場合、他の現場に従事しないこと。
9. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上変更することができる。ただし工事着手後の変更は認めない。
10. 下請け企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。
11. 受注者は週休2日制度対象工事であることを工事看板に明記すること。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し小数点以下を四捨五入する。

〈労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正〉

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
機械経費（賃料）	-	-
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第 8 条 (その他)

1. 設計図書に記載なきもの及び不明確な事項については、監督員と協議を行い、指示により施工すること。
2. 工事用標示板 (工事中) について
工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。また旧タイプの工事看板は使用しないこと。
3. 週休 2 日制度対象工事を明記する工事看板について
工事看板例として下図を添付するので、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。



休日取得計画書

(あて先)総括監督員

工事名: _____

受注者: _____

月 _____ 提出日 令和 年 月 日

日	曜日	休日取得計画	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
合計			

(注)
1 下記の期間は週休2日の対象期間から除く(備考欄に「対象期間外」と記載する)
年末年始休暇期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間
2 月末までに翌月の計画書を総括監督員に提出する

休日取得実績報告書

(あて先)総括監督員

工事名: _____

受注者: _____

提出日 令和 年 月 日

日	曜日	休日取得計画	休日取得実績	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
合計				

- (注)
- 1 休日取得計画欄には前可提出した休日取得計画日に「○」を記入する
 - 2 休日取得実績欄には実際に休日を取得した日に「○」を記入する
 - 3 下記の期間は週休2日の対象期間から除く(備考欄に「対象期間外」と記載する)
 年末年始休暇期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間
 - 4 休日を振替えた場合は、備考欄に「○日の振替日」と記載する